山形市ウォーキング推進計画

計画の推進により、ＳＤＧｓのこのゴールの達成に貢献することを目指します

令和４年３月

山　形　市

【目　次】

第1章　計画の概要

1-1　計画の背景と目的 ･･ 1
1-2　計画区域の設定 ･･ 2
1-3　計画の期間 ･･ 2
1-4　計画の位置づけ ･･ 3
1-5　検討体制 ･･ 3

第2章　本市の特性及びウォーキングを取り巻く現状・ニーズ

2-1　地域特性 ･･ 4
(1)人口の推移 ･･ 4
(2)高齢化の推移 ･･ 5
(3)医療費の推移 ･･ 6
2-2　交通特性 ･･ 7
(1)地域間移動の状況 ･･ 7
(2)道路交通特性 ･･ 8
(3)消雪道路の整備状況 ･･ 9
2-3　ウォーキングに関する本市の取組 ･･････････････････････････････ 10
(1)ウォーキングコースの設定 ･･････････････････････････････････････ 10
(2)市内のウォーキングの実態調査結果 ･･････････････････････････････ 14
(3)山形市健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）の実施 ･･････････････ 16
2-4　市民アンケート調査 ･･ 19
2-5　ウォーキングの現状・ニーズ ･･････････････････････････････････ 21
(1)安心・安全 ･･ 21
(2)健康 ･･ 21
(3)歩行環境 ･･ 22
2-6　ウォーキングの課題 ･･ 23

第3章　計画の目標と実施すべき施策及び取組内容

3-1　計画の目標 ･･ 24
3-2　実施すべき施策及び取組内容 ･･････････････････････････････････ 25
(1)目標 1:交通事故のない安全で安心な社会の実現 ･･････････････････ 26
(2)目標 2:日常生活における歩く習慣の定着促進 ･･････････････････ 30
(3)目標 3:歩きやすい歩行空間の整備 ･･････････････････････････････ 37
(4)目標 4:多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの充実 ･ 44

第4章　計画の推進体制、フォローアップ及び見直し

4-1　計画の推進体制について ･････････････････････････････････････ 47
4-2　計画の推進に向けて ･･･ 47
4-3　目標指標の設定 ･･･ 48

資料編

1　本市の特性及び歩行者を取り巻く現状･････････････････････ 資料-1
2　市民アンケート調査･････････････････････････････････････ 資料-9
3　山形市ウォーキングロード及びサイクリングロード整備計画策定検討会議構成員一覧･････････････････････････････････････ 資料-21

第１章　計画の概要

1-1　計画の背景と目的

日本の総人口は　２００８年を境に人口減少局面に入っており、６５歳以上の高齢者の割合も２０３６年３３．８％、２０６５年には３８．４％と２．６人に１人高齢者となる事が予想されている。

こうした少子高齢化社会に対応するため、国では、生活習慣や社会環境の改善を通して、国民の健康の増進の総合的な推進を図るため、平成２４年に「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」を定めた。その実現に向け、平成２５年度から平成３４年度（令和４年度）までの１０年間、国民健康づくり運動である「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本２１（第二次））」を推進することとしており、その中で、「日常生活における歩数の増加」や「運動習慣者の割合の増加」といった具体的な目標値が設定されている。

山形県においても、従来の計画に、高齢者の健康等、社会生活を営むために必要な身体機能の維持･向上の視点を加えた､「健康やまがた安心プラン」を平成２５年に策定し、運動習慣の定着に向け、県民が気軽に運動でできる機会を増やすことを目的として、ウォーキングマップの作成によるウォーキングの推進や、歩道や公園などの整備により、気軽に運動しやすい環境整備を進めることとしている。

山形市では、国の「健康日本２１（第２次）」や、山形県の「健康やまがた安心プラン」を踏まえ、平成２５年度に「山形市健康づくり２１」を作成し、山形市の実状や特性を活かし、市民一人ひとりが実践する健康づくりを推進している。加えて、「山形市発展計画２０２５（令和２年３月策定）」において、山形市基本構想に掲げた「健康医療先進都市」の確立に向け、「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を進めている。重点政策として「健康の保持・増進を定め、健康寿命の延伸に向け、食事（Ｓ）、運動（Ｕ）、休養（Ｋ）、社会（Ｓ）、禁煙・受動喫煙防止（Ｋ）に留意する「ＳＵＫＳＫ（スクスク）生活」を推進するほか、身近な場所で健康な体づくりができる環境整備として、ウォーキングロードの整備検討を行うこととしている。

このような背景を踏まえ、本市は、市民の安全・快適な移動が可能となる歩行環境整備に加え、身近な場所にて気軽に運動を行える環境整備を進めるために、総合的かつ効果的な施策の展開にむけてウォーキング推進計画を策定する。

1-2　計画区域の設定

対象区域は、山形市全域を対象にする。

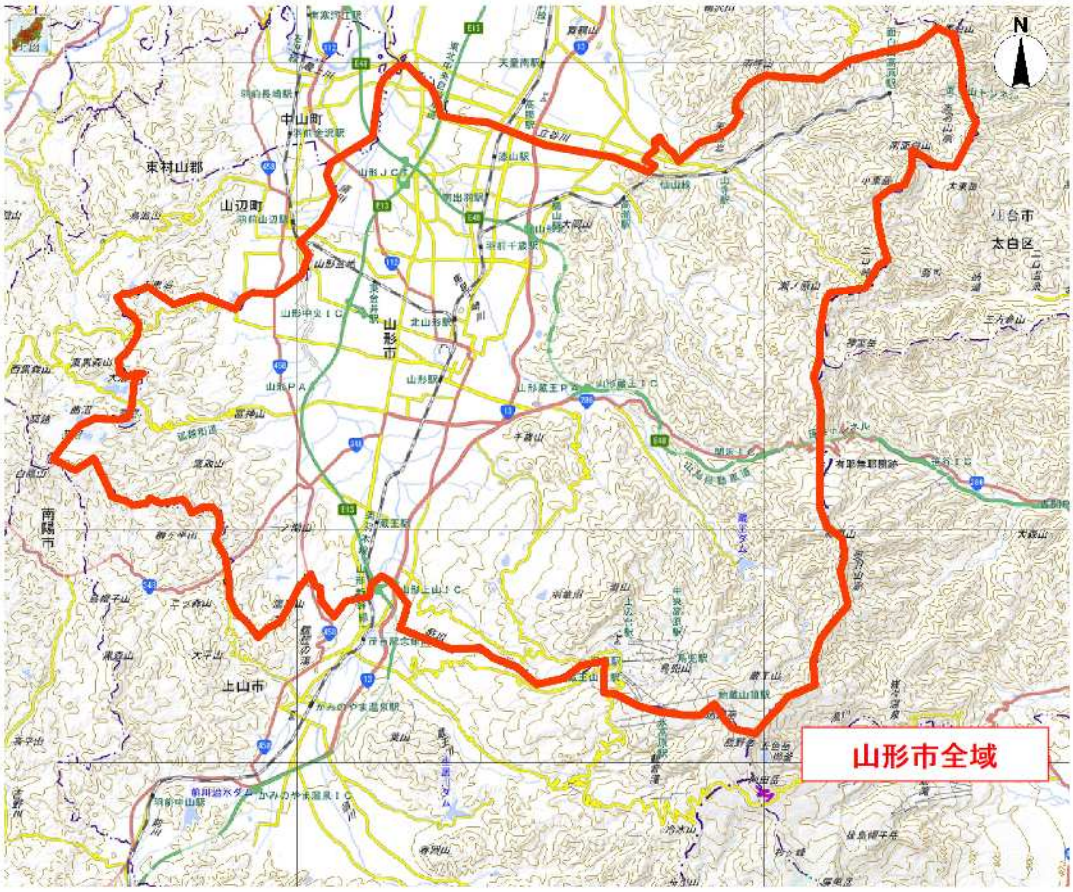


図 1-1　対象区域の位置図

1-3　計画の期間：6 年間

本計画の計画期間は、並行して策定する山形市自転車活用推進計画に合わせ、計画課間を令和 4 年度から令和 9 年度までの 6 年間とする。

なお、関連施策や事業の進捗、社会情勢の変化、上位・関連計画の改訂等変更が必要になった場合は、計画を適宜見直す。

1-4　計画の位置づけ

本計画は、山形市基本構想に掲げる「健康医療先進都市」の確立に向けた「山形市発展計画 2025」の具体的な取組として、「山形市都市計画マスタープラン」、「山形市立地適正化計画」、「山形市地域公共交通計画」など本市の既存計画と連携を図りながら展開していく。

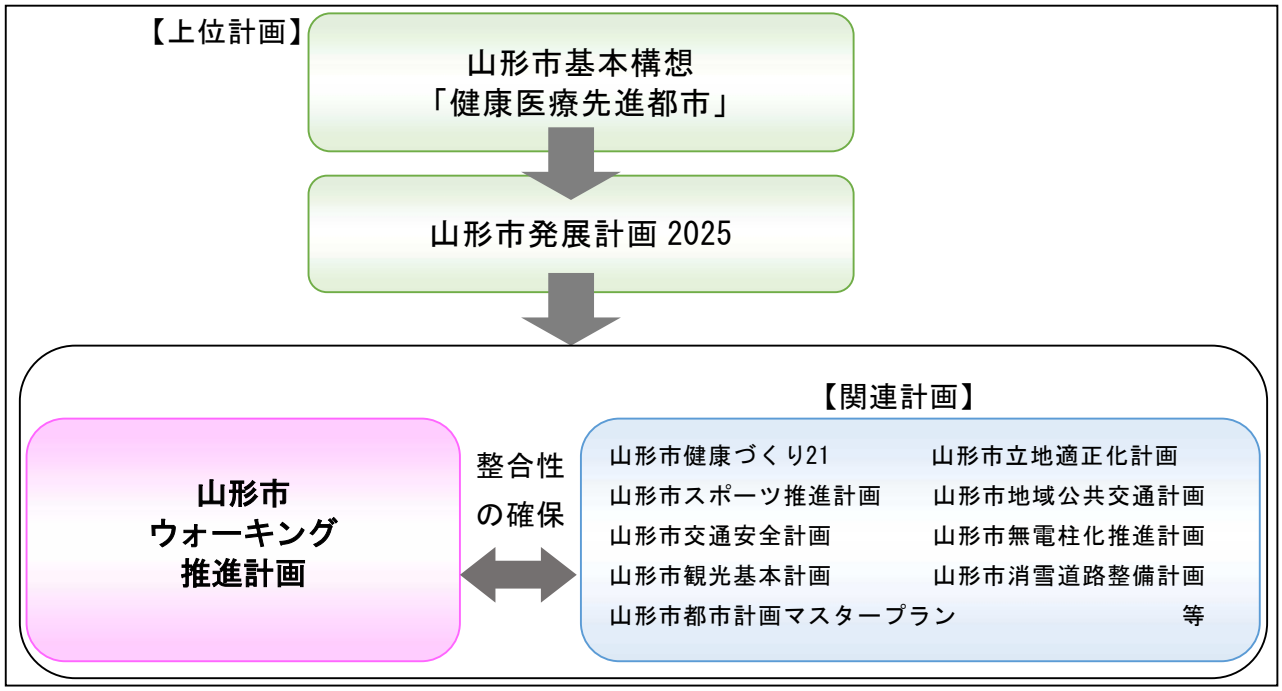


図 1-2　本計画の位置づけ

1-5　検討体制

ウォーキング推進計画の策定に向け、市民アンケートを実施しながら、庁内関係課による施策や取り組み方針の検討を行った。

当該計画の検討にあたり、意見聴取や検討を行う組織として、有識者や関係団体・機関等で構成する検討会議を設置し、意見を集約して反映している。

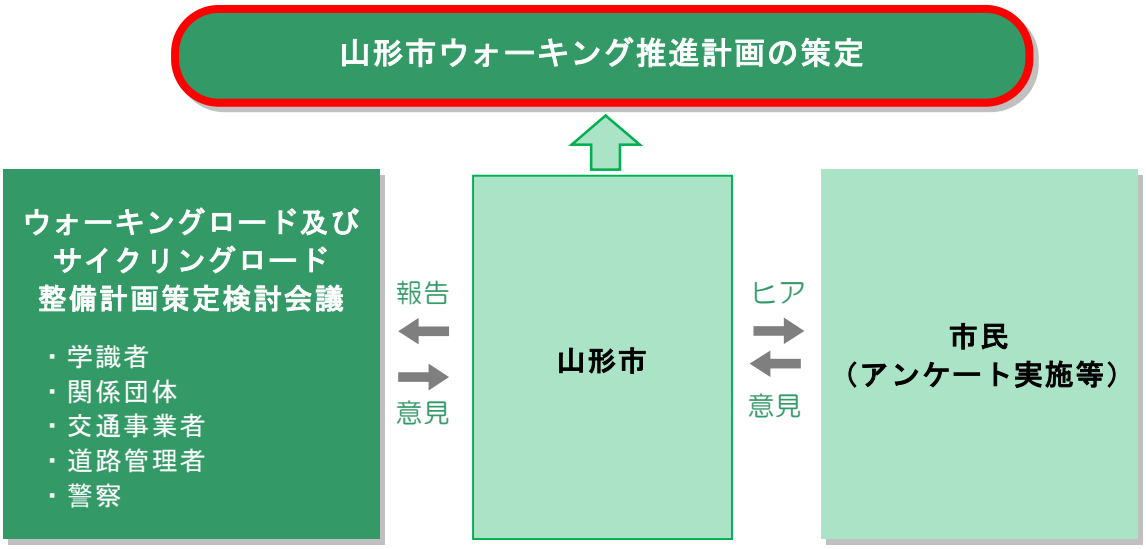


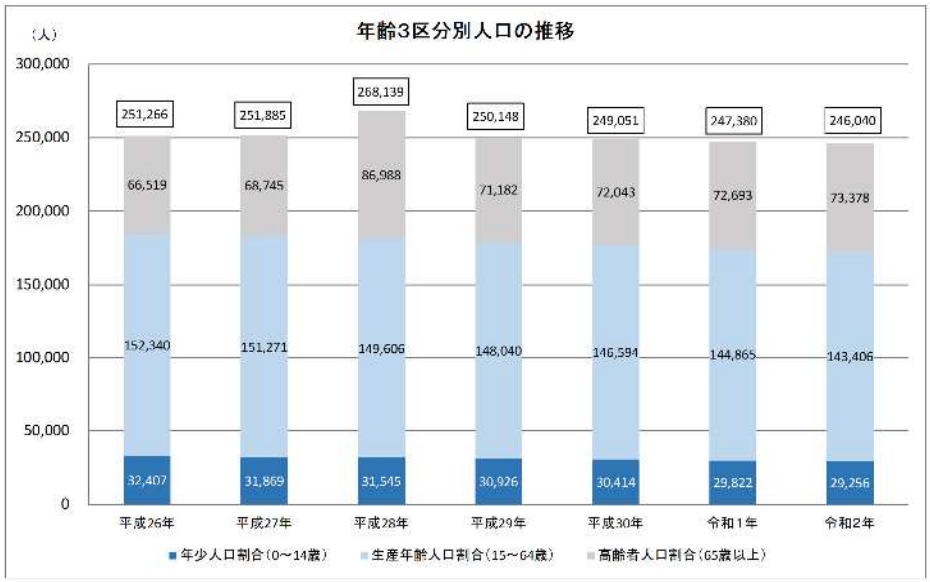
図 1-3　検討体制

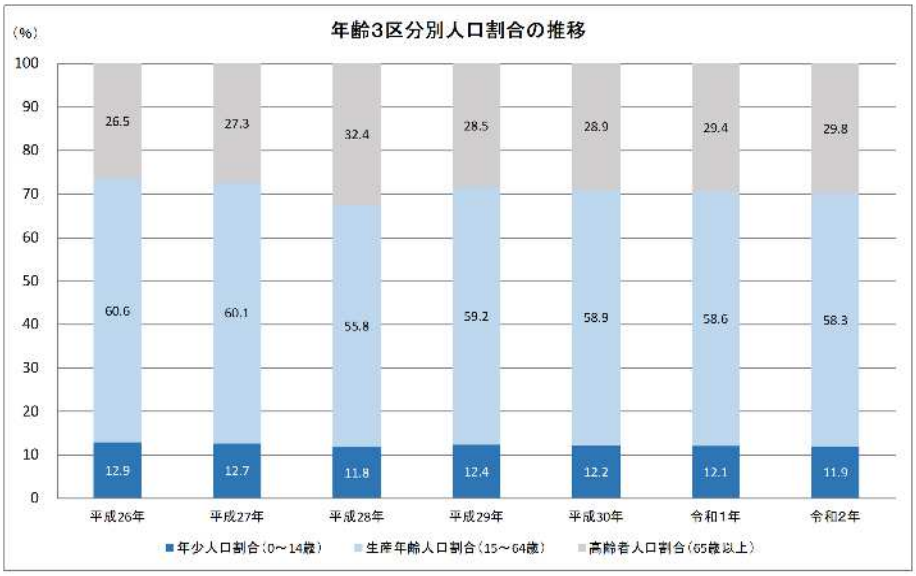
第 2 章　本市の特性及びウォーキングを取り巻く現状・ニーズ

2-1　地域特性

（1）人口の推移

本市の人口は、令和 2 年現在で約 24 万 6 千人であり、平成 28 年をピークに緩やかに減少している。年齢構成比をみると、令和 2 年までに年少人口が減少する一方で、65 歳以上の割合は年々増加傾向にあり、約 30%近くとなっている。

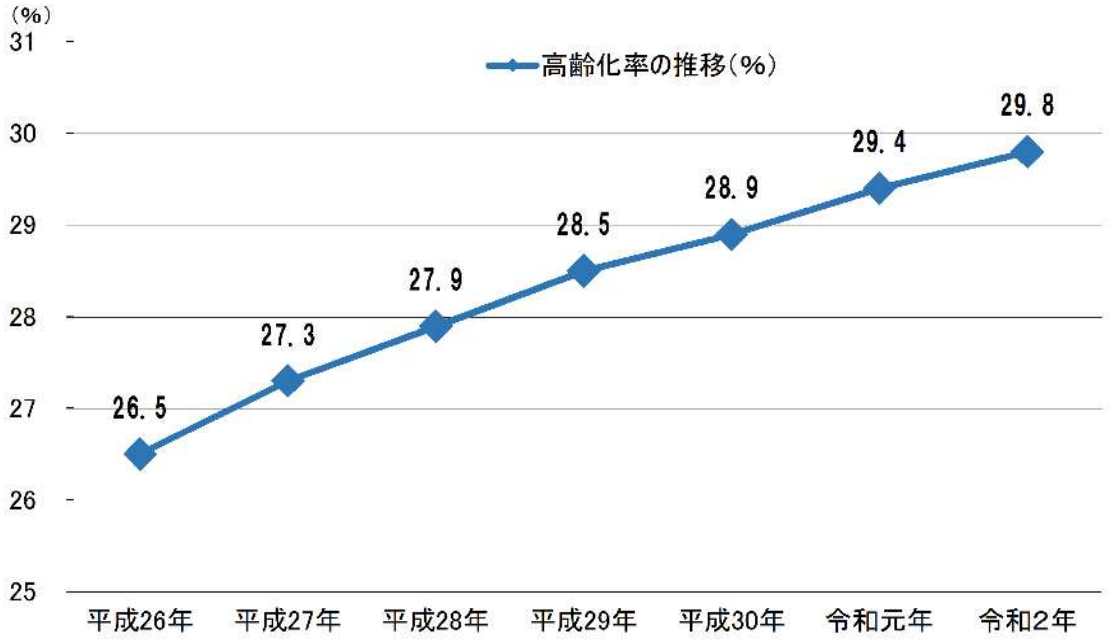


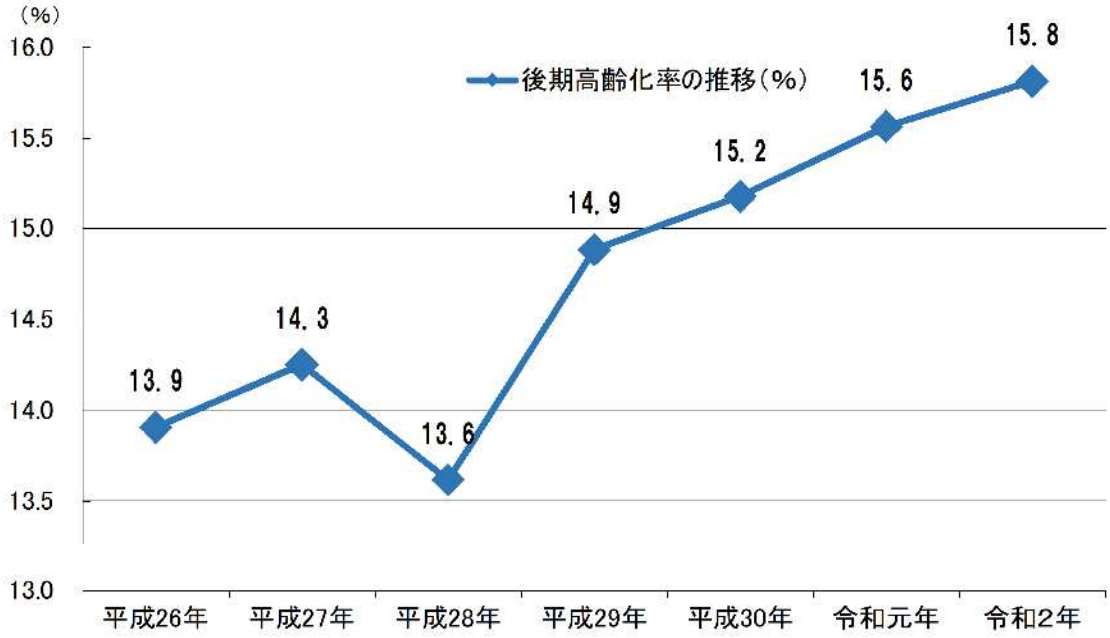


出典：国勢調査：「山形県の人口と世帯数（推計）」

（2）高齢化の推移

本市の高齢化率は、令和２年現在で約 30％であり、年々増加傾向にあります。また、後期高齢化率も同様に高い状況にあります。





出典：国勢調査：「山形県の人口と世帯数（推計）」

(3) 医療費の推移

本市の一人当たりの医療費は 2019 年で約 400 千円であり、年々増加傾向にあります。

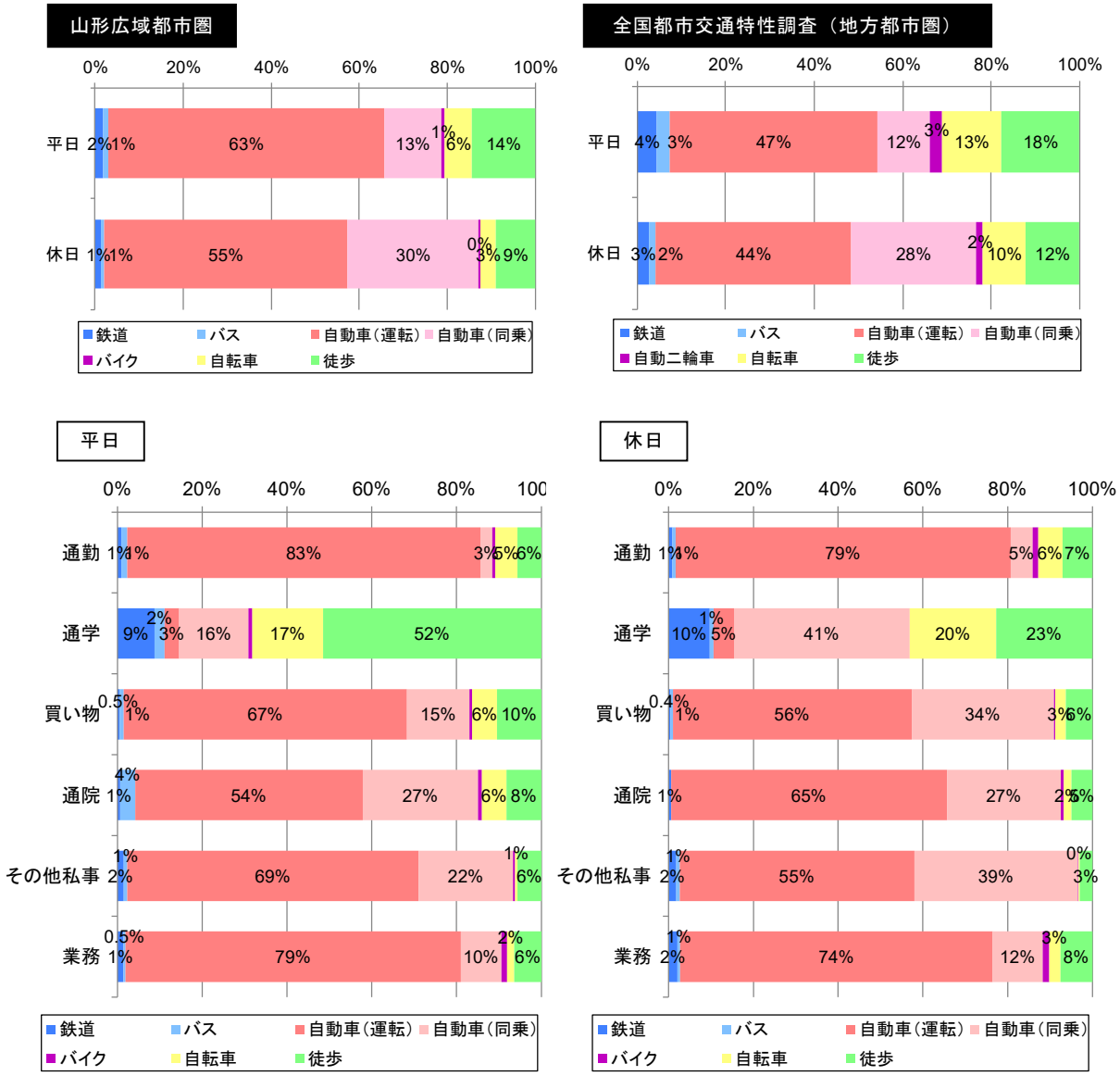
今後の高齢社会の進展による影響を踏まえて、医療費の抑制に向けた市民一人ひとりの健康増進のための意識の醸成とそれを促す各種施策の充実が必要となります。

出典：医療費の地域差分析・基礎データ（厚生労働省）

2-2　交通特性

（1）地域間移動の状況

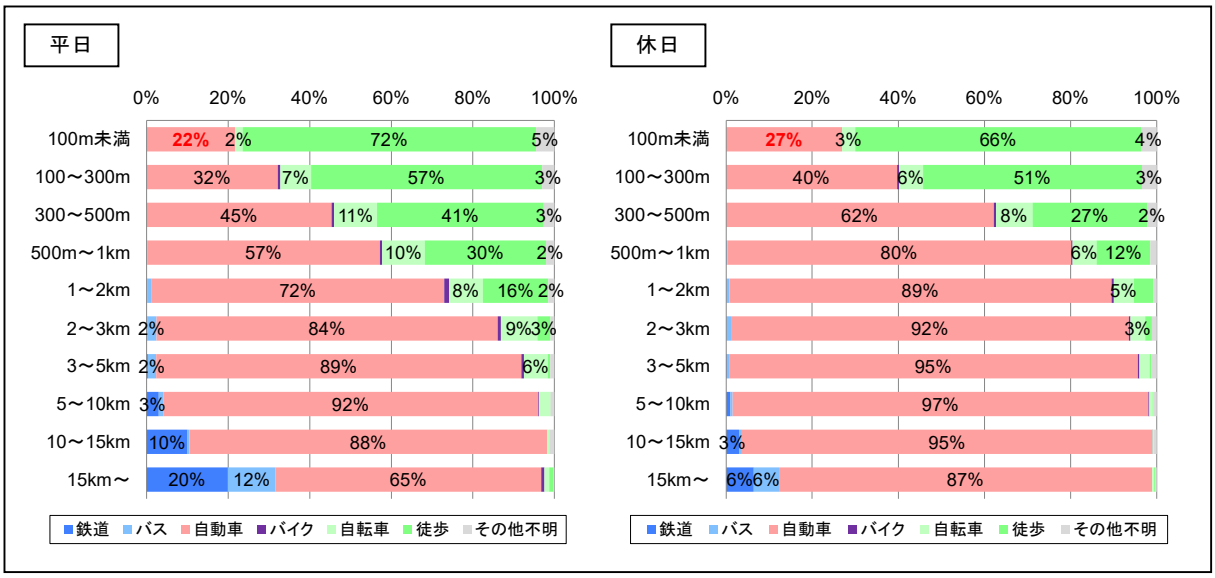
平成 29 年に実施した「山形広域都市圏パーソントリップ調査」結果において、山形市を含む山形広域都市圏における自動車利用率は全国平均よりも高く、自転車による移動は少ない傾向が見られる。また、移動目的別の交通手段でも、通学以外で自転車による移動は少ない状況である。



出典：山形広域都市圏パーソントリップ調査

（2）道路交通特性

山形市の利用交通手段別でのトリップの特性（トリップ距離帯別・代表交通手段構成比）では、距離が長くなるにつれて自動車の利用が卓越していくが、100m未満の短距離の移動においても、自動車を利用する割合が平日で 22%、休日で 27%と一定数みられる。



出典：山形広域都市圏パーソントリップ調査

（3）消雪道路の整備状況

山形市内の消雪道路については、都市計画道路の歩道や郊外部の急勾配箇所を中心に整備が行われている。また、消雪道路未整備個所について、歩道除雪路線も多い。

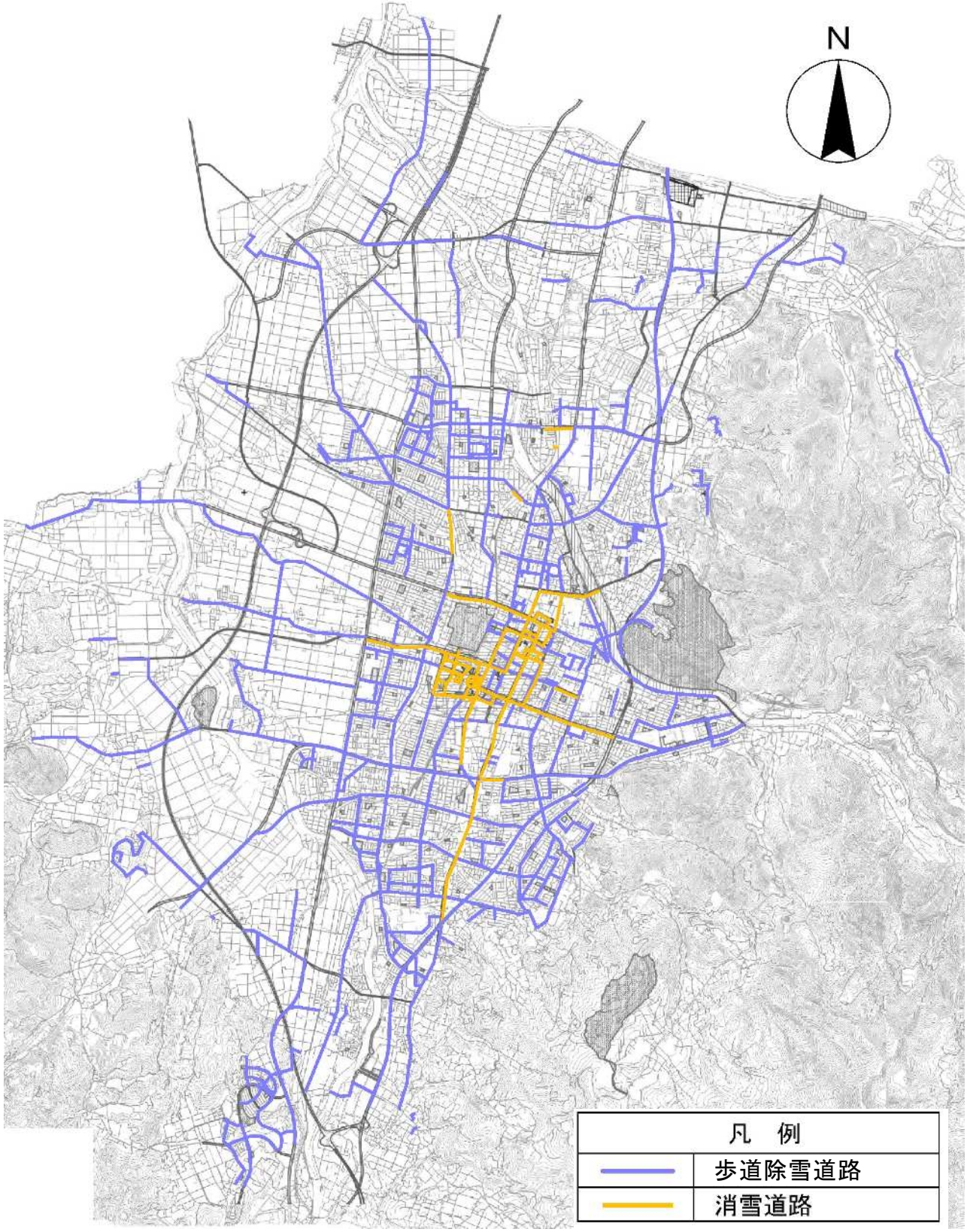


図2-1　消雪・歩道除雪路線位置図

2-3　ウォーキングに関する本市の取組

（1）ウォーキングコースの設定

a）山形市ウォーキングコース（健康増進課）

平成 23 年度に、山形市健康づくり運動普及推進協議会との共同で、市民が日常的に身近な環境でウォーキングに取り組めるよう、市内 28 箇所にウォーキングコースを設定していた。

その後、随時見直しを行い、令和 3 年 4 月現在では、23 箇所のウォーキングコースを設定し、順次、マップの作成を進めている。

■山形市ウォーキングコース一覧

①	街中歴史散歩　中級コース
②	街中歴史散歩3
③	街中歴史散歩4
④	石垣塀のある街コース
⑤	新旧の街道を歩く
⑥	「遺跡と泉の里」楯山　青柳地区を歩こう
⑦	富神山のふところをめぐる
⑧	明治ミステリアスゾーン
⑨	霞城公園おさんぽコースA
⑩	霞城公園おさんぽコースB
⑪	街なか歴史散策
⑫	嶋遺跡公園周辺散策コース
⑬	街なかウォーキング3km
⑭	街なかウォーキング5km
⑮	慈覚大師と歩く高瀬地区
⑯	神社ともみじ公園コース

⑰	悠創の丘から古刹への散歩道
⑱	癒しのあじさい参道
⑲	大郷歴史めぐり
⑳	「遺跡と泉の里」楯山　十文字地区を歩こう
㉑	山形城史跡を巡る
㉒	小白川町の歴史と自然の再発見
㉓	街なかウォーキングコース（S）
	街なかウォーキングコース（L）

：山形市 HP にてマップを公表（7 種類）

b）公園散策マップ（公園緑地課）

市内の４箇所の公園について散策コースを設定し、マップの作成を行っている。

【１】千歳山

図2-2　散策マップ（千歳山）

【２】鈴川公園

図2-3　散策マップ（鈴川公園）

【３】成沢城跡公園

図2-4　散策マップ（成沢城跡公園）

【４】長谷堂城跡公園

図2-5　散策マップ（長谷堂城跡公園）

c）ウォーキングコース（総括）

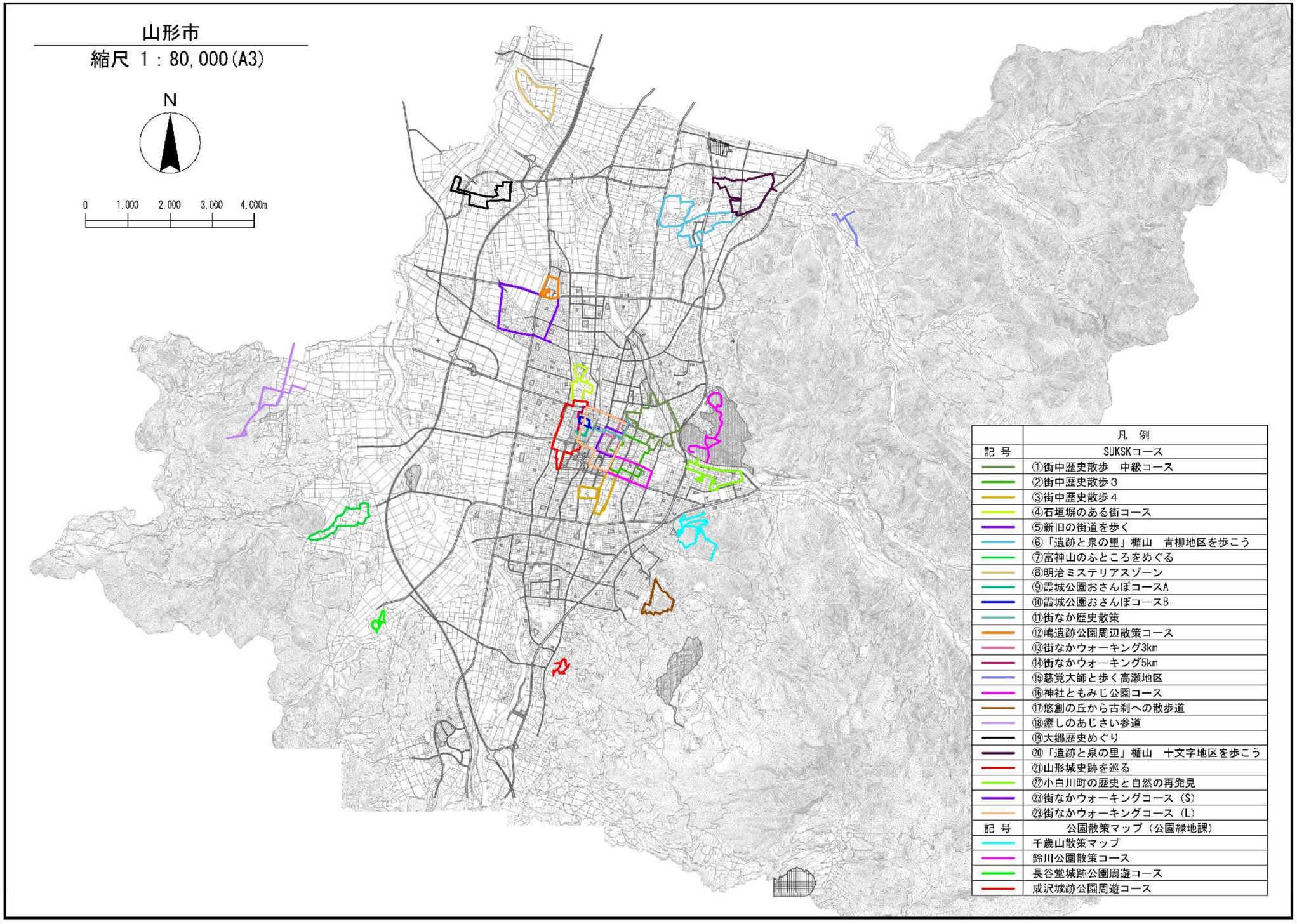


図2-6　市内ウォーキングコースマップ

(2) 市内のウォーキングの実態調査結果

山形広域都市圏パーソントリップ調査における、「散歩・ジョギング」目的のトリップ数は、他の項目に比べ低い状況である。

目的種類	トリップ数		構成比	
	平日	休日	平日	休日
通勤	134,260	37,558	14.5%	4.6%
通学	53,582	6,392	5.8%	0.8%
帰宅	357,033	309,944	38.6%	38.4%
買い物	102,496	194,221	11.1%	24.0%
通院	18,353	1,667	2.0%	0.2%
習い事・塾	12,158	7,990	1.3%	1.0%
食事・交際	29,644	59,708	3.2%	7.4%
娯楽・遊戯	30,470	74,359	3.3%	9.2%
送迎	38,334	25,100	4.1%	3.1%
散歩・ジョギング	8,865	7,927	1.0%	1.0%
その他私用	49,889	55,884	5.4%	6.9%
業務	56,291	18,158	6.1%	2.2%
帰社	28,250	4,909	3.1%	0.6%
不明	4,384	3,941	0.5%	0.5%
合計	924,010	807,758	100.0%	100.0%

出典：山形広域都市圏パーソントリップ調査

また、目的別の着トリップより、「散歩・ジョギング」目的の利用者数が比較的多い施設及びウォーキングコースは下記の通りである。

【特徴】

・中心部：<u>霞城公園</u>や<u>護国神社周辺</u>に多くのトリップが集中。

・郊　外：運動場や病院等の“<u>散策路が整備された施設</u>”や
　　みはらしの丘等の”<u>集落完結型トリップ</u>“が多い。
　　：駐車場が整備された施設へ<u>車で向かい散歩をして帰るトリップ</u>が多い。

トリップ数	想定目的地	周辺のウォーキングコース
100＞	・山形市総合スポーツセンター ・護国神社 ・霞城公園 ・東北芸工大・悠創館	・街なか歴史散歩（初級・中級） ・霞城公園 ・悠創の丘から古刹への散歩道
75～100	・文翔館	・街なか歴史散歩（初級・中級）
50～75	・県立中央病院 ・県あかねヶ丘陸上競技場 ・千歳稲荷周辺 ・竜山川周辺 ・長谷堂城跡 ・みはらしの丘 ・黒沢温泉	・「遺跡と泉の里楯山」青柳地区 ・千歳山　山麓散歩 ・竜山川・川沿い散策

⇒徒歩移動者の多いエリアは、中心部や特定エリア・施設に集中しており、郊外を中心に、ウォーキングコースが設定されていても徒歩移動者が少ないエリアがある。

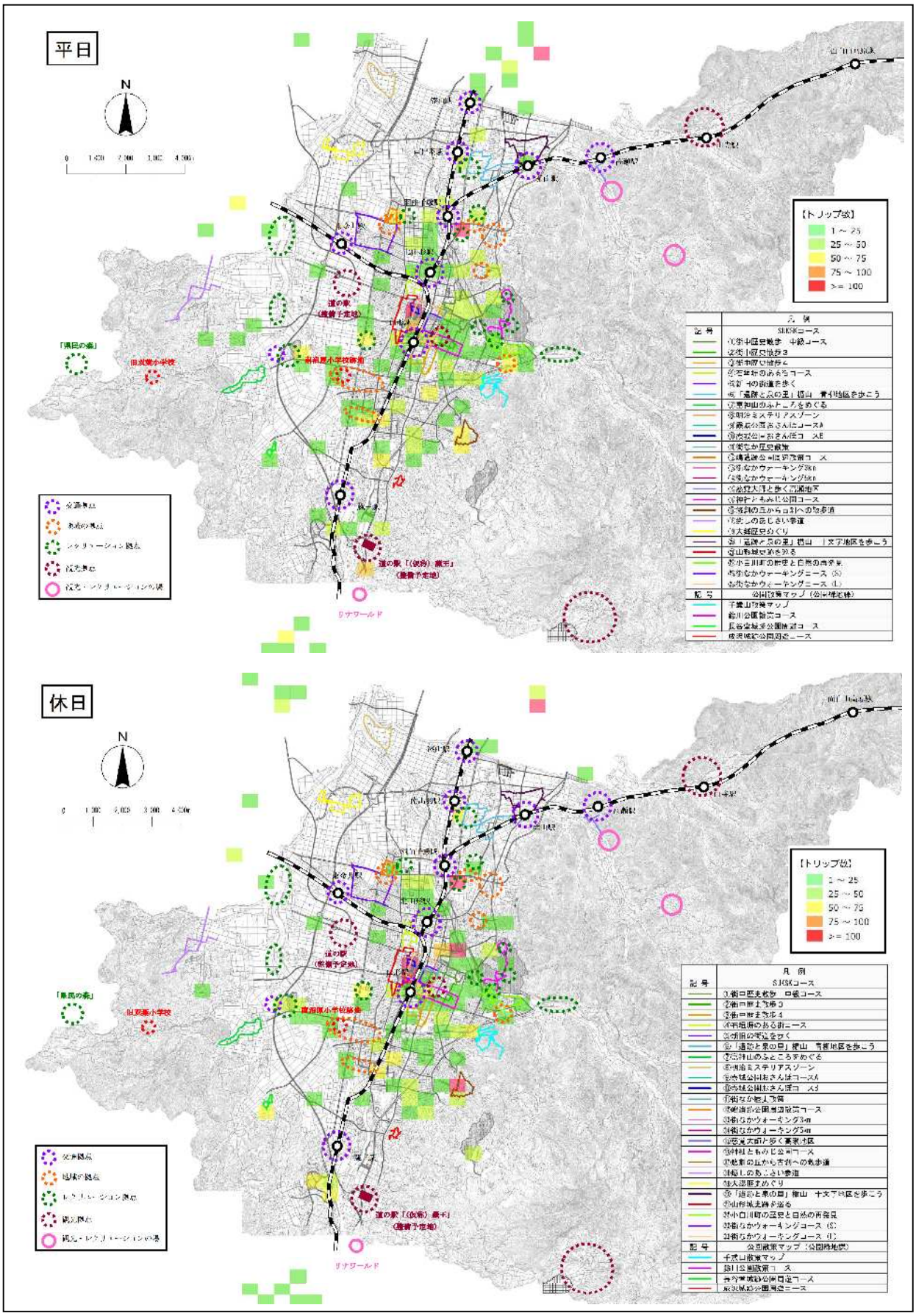


図2-7　散歩・ジョギングトリップ（出典：山形広域都市圏パーソントリップ調査）

（3）山形市健康ポイント事業 SUKSK（スクスク）の実施

①事業概要

・山形市民において、健康寿命を損なう原因の分析結果から、認知症・運動器疾患（骨折・転倒、関節疾患）・脳血管疾患が全体の約 80%を占めている。

・こうしたリスクを予防するために、山形市では「食事（S）、運動（U）、休憩（K）、社会（S）、禁煙・受動喫煙防止（K）」に留意した「ＳＵＫＳＫ（スクスク）生活」を提唱し取り組んでいる。

・この健康づくりの一環として、山形市民が専用のスマホアプリや歩数計を活用しながら、毎日の歩数や健康づくりに関する事業への参加や、健康診査、がん検診を行うことで、ポイントを貯めることができ、ポイントを一定数貯めることにより、記念品を抽選により入手できる仕組みを設け、健康づくりについて楽しみながら取り組める事業を実施している。

②ポイント対象となる健康づくり

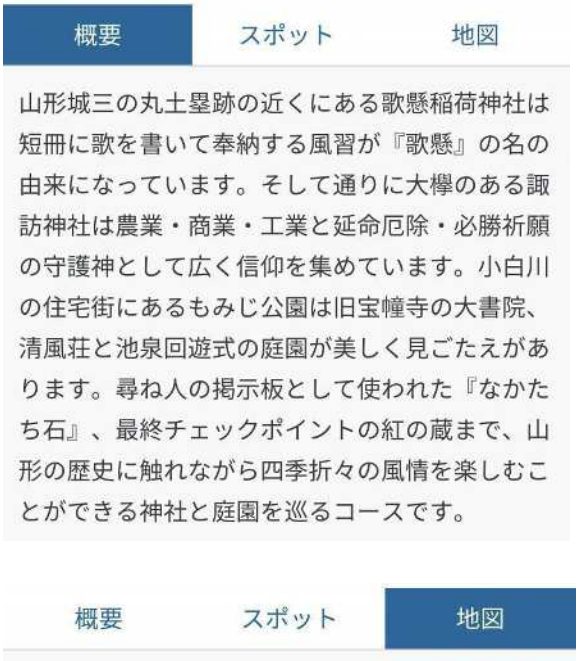
・毎日の歩数　　・健康診査やがん検診等の受診　　・セルフチェック（アプリのみ）

・健康づくりに関する事業やボランティア活動等への参加

③SUKSK アプリの作成

・令和元年度より、アプリ上で順次ウォーキングコースを公開している。コース完歩者に達成報酬ポイントを付与することでウォーキングを推進している。

≪ウォーキングコース紹介ページ≫



④SUKSK 実施状況

・参加者数

平成３０年９月の事業開始以降、参加者数は年々増加しており、目標定員を上回る状況が続いている。

■令和元年度（令和2年3月31日現在）　単位：人

区分	参加者数	目標定員	達成率	備考
①スマホアプリ	2,203	1,500	147%	個人：1,881 人 事業所：322 人(23 事業所)
②歩数計	500	500	100%	
③ポイント手帳	10	－	－	歩数ポイント以外のポイントをためて参加することができる。
④介護予防手帳	530	－	－	
①+②	2,703	2,000	135%	
①+②+③+④	3,243	2,000	162%	

■令和2年度（令和3年3月31日現在）　単位：人

区分	参加者数	目標定員	達成率	備考
①スマホアプリ	3,731	3,300	113%	個人：3,102 人 事業所：629 人(46 事業所)
②歩数計	676	700	97%	
③ポイント手帳	10	－	－	歩数以外のポイントをためることができる。
④介護予防手帳	611	－	－	
①+②	4,407	4,000	110%	
①+②+③+④	5,028	4,000	126%	

※参加資格　個人参加の場合：山形市に住所を有する１８歳以上の方

事業所参加の場合：市内事業所に勤める１８歳以上の方（スマホアプリ参加のみ）

・ポイント目標達成率

毎年１２月末時点で 5,000 ポイント達成者を対象に記念品が当たる抽選を実施しており、目標達成者数　及び達成率は年々増加している。

（1）令和元年（令和元年12月31日時点）

年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	介護予防手帳等	合計
参加者数	213	516	581	442	288	165	29	450	2,684
達成者数	38	105	171	181	142	66	14	182	899
達成率（%）	17.8	20.3	29.4	41.0	49.3	40.0	48.3	40.4	33.5

（2）令和2年（令和2年12月31日時点）

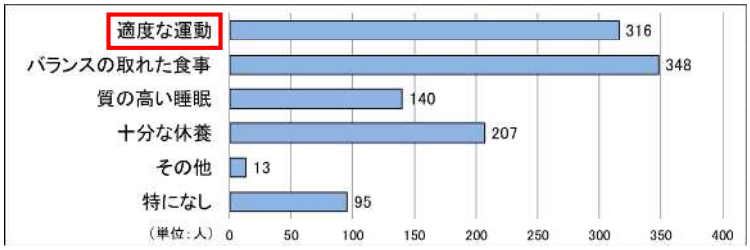
年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上	介護予防手帳等	合計
参加者数	400	848	984	827	553	382	93	621	4,708
達成者数	130	315	446	475	356	211	39	154	2,126
達成率（%）	32.5	37.1	45.3	57.4	64.4	55.2	41.9	24.8	45.2

2-4　市民アンケート調査

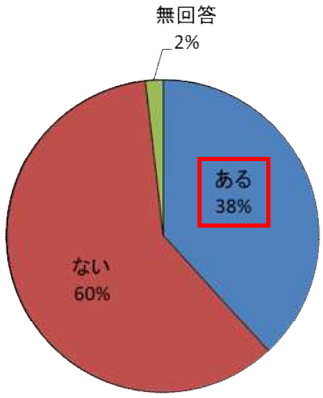
令和 3 年 4 月に市民のウォーキング及びサイクリングに関する実態を把握するため、アンケート調査を実施した。そのうちウォーキングに関する内容について抜粋した結果を以下に示す。（詳細は資料編に記載）

1. 健康のために心がけていること

【健康のために心がけていること】



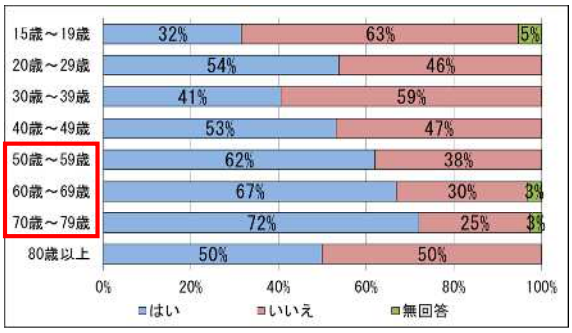
【運動習慣】



・健康のために心掛けていることとして、「適度な運動」を挙げた人が半数以上いるものの、日頃から運動習慣がある人は約 40%未満である。

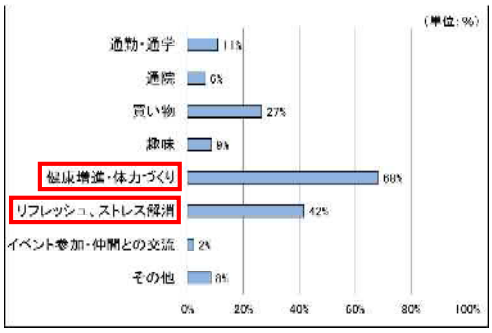
2. ウォーキングの実施状況、目的

【年齢別×ウォーキングの実施状況】



・普段から意識して歩くようにしている人の割合は、全世代平均で 60%であり、50 代～70 代で割合が高い。

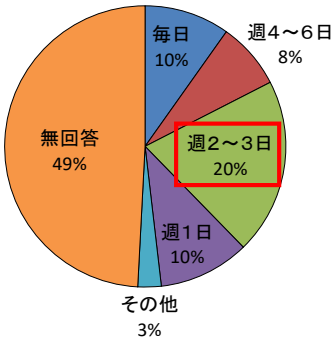
【歩く目的】



・「健康増進・体力づくり」が 68%、「リフレッシュ、ストレス解消」が 42%と、大多数を占める。

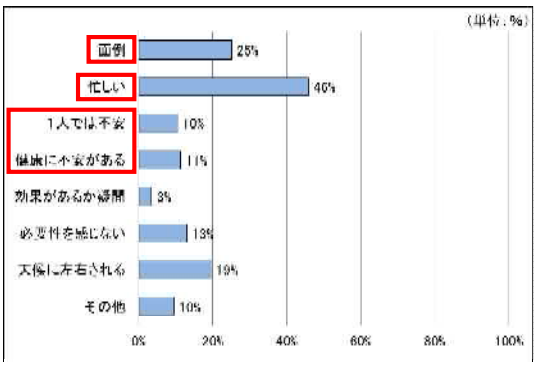
3. 歩く頻度、ウォーキングをしない理由

【歩く頻度】



・「週 2～3 日」の頻度で歩く人が 20%と最も多い。

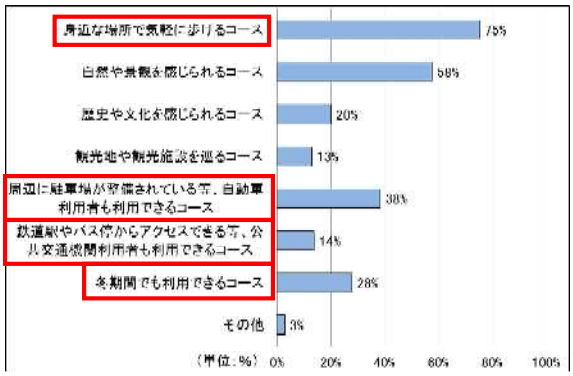
【ウォーキングしない理由】



・「忙しい」が 46%と最も多く、「面倒」が 25%、「1 人では不安・健康に不安がある」が 21%と続いている。

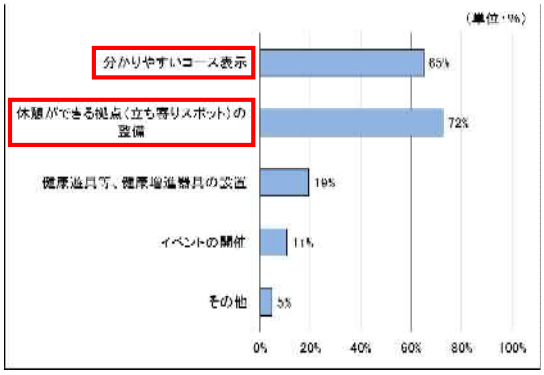
4. ウォーキングコースの設定方針

【コースの設定方針】



・「身近な場所で気軽に歩けるコース」が 75%と突出している。また、「冬期間も利用できるコース」を望む意見も 28%ある。
・「周辺に駐車場が整備されている等、自動車利用者も利用できるコース」を望む意見が 38%、「鉄道駅やバス停からアクセスできる等、公共交通機関利用者も利用できるコース」を望む意見が 14%となっており、自宅から離れたウォーキングコースのニーズもある。

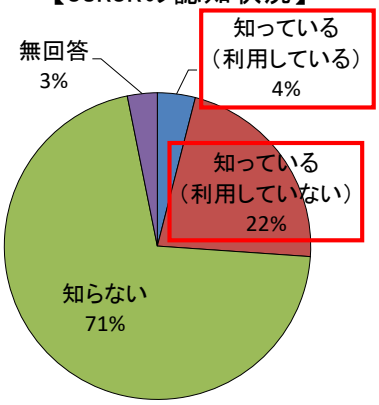
【コースに必要な工夫】



・「休憩ができる拠点（立ち寄りスポット）」が 72%、「分かりやすいコース表示」が 65%と突出している。

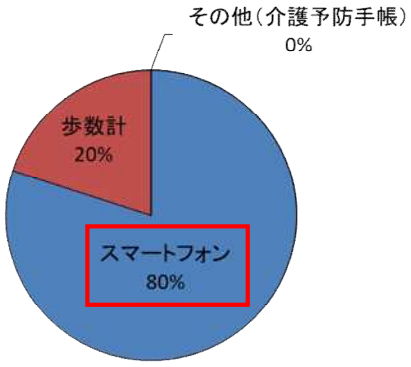
5. SUKSK の利用状況

【SUKSKの認知状況】



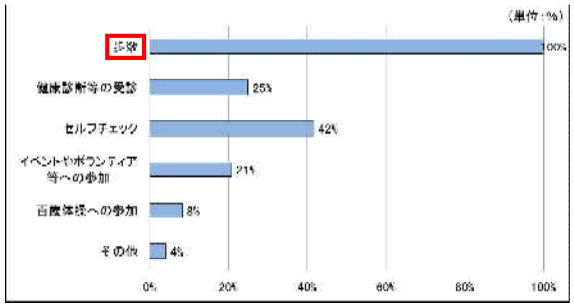
・SUKSK の認知度は 26%、利用率は 4%に留まっている。

【SUKSKへの参加方法】



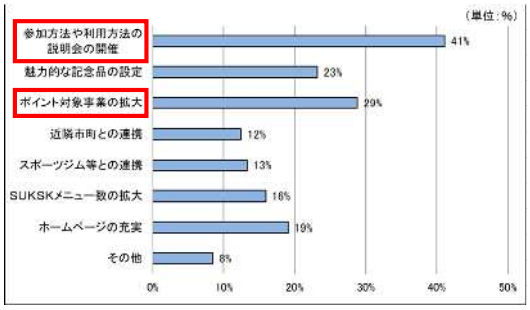
・SUKSK への参加方法はスマートフォンが 80%を占めている。

【ポイント獲得方法】



・ポイントの獲得方法は「歩数」が 100%であり、その他項目は半分以下である。

【SUKSK利用促進に必要なもの】



・利用促進のために必要なものとして、「参加方法や利用方法の説明会の開催」が 41%と最も多く、「ポイント対象事業の拡大」が 29%と続いている。

2-5　ウォーキングの現状・ニーズ

山形市におけるウォーキングの現状とニーズについて、以下の４つのテーマに応じた分析結果を示す。

（1）安心・安全

項目	現状	ウォーキングに関するニーズ（アンケート調査結果）
安心・安全	・市内には自転車通行可とされている歩道が多い。 ・市内の消雪道路は歩道消雪が中心であるため、自転車道が整備されていない消雪道路については、自転車は歩道内を走行している。	・「冬季期間でも利用できるウォーキングコース」を望む意見が 28%ある。 ・自転車の走行環境への不満点において、「どこを走ればいいかわからない」との意見が 24%、「死角からの人の飛び出しが危険」との意見が約 20%ある。

（2）健康

項目	現状	自転車利用に関するニーズ（アンケート調査結果）
健康	・高齢化が進み、令和 2 年度時点において、市民の約 30%が 65 歳以上となっている。 ・山形広域都市圏パーソントリップ調査によると、散歩・ジョギング目的の外出は、平日・休日ともに全体の 1%程度である。 ・SUKSK の参加者数は約 5,000 人前後であるが、スマホアプリを使用する高齢者の参加率が低い。	・普段から意識して歩くようにしている人の割合は、全世代平均で 60%であり、50 代～70 代で割合が高い。 ・歩く理由としては、「健康増進・体力づくり」が 68%、「リフレッシュ、ストレス解消」が 42%と、大多数を占める。また、歩かない理由としては、「１人では不安・健康に不安がある」の回答が 21%ある。 ・SUKSK の認知度は 26%、利用率は 4%に留まっている。 ・SUKSK への参加方法はスマートフォンが 80%を占める。 ・ポイントの獲得方法は「歩数」が 100%であり、その他項目は半分以下である。 ・SUKSK の利用促進のために必要なものとして、「参加方法や利用方法の説明会の開催」が 41%と最も多く、「ポイント対象事業の拡大」が 29%と続いている。

（3）歩行環境

項目	現状	ウォーキングに関するニーズ （アンケート調査結果）
歩行環境	・山形広域都市圏パーソントリップ調査において､｢散歩･ジョギング｣は市内中心部に集中している。 ・山形市では、ウォーカブルなまちづくりを推進している。 ・消雪道路は都市計画道路の歩道や郊外部の急こう配箇所を中心に整備されており、その他は除雪により対応している。 ・ウォーキングコースは市内 23 箇所に設定されている。 ・既存のコースには、城下町や中心部を散策できるものなど、様々コースが設定されている。	・普段から意識して歩くようにしている人の割合は、全世代平均で60%であり､50 代～70 代で割合が高い。 ・ウォーキングをしない理由として、「忙しい」が 46%と最も多く、「面倒」が 25%と続いている。 ・ウォーキングコースに求める方針として､｢身近な場所で気軽に歩けるコース｣が 75%と突出している。また、「冬期間も利用できるコース」を望む意見も 28%ある。 ・ウォーキングコースに必要な工夫として､｢休憩ができる拠点（立ち寄りスポット)｣が 73%、「分かりやすいコース表示」が 65%と、突出している。 ・健康のために心がけている事として、「適度な運動」が 52%を占めている。 ・運動習慣があるとの回答は全体の38%である。 ・「周辺に駐車場が整備されている等、自動車利用者も利用できるコース」を望む意見が 39%、「鉄道駅やバス停からアクセスできる等、公共交通機関利用者も利用できるコース」を望む意見が 14%となっており、自宅から離れたウォーキングコースのニーズもある。

2-6　ウォーキングの課題

山形市における歩行環境に関する現状と、市民アンケート調査結果から抽出されるニーズを踏まえ、ウォーキングに関する課題を以下の通りとして整理する。

ウォーキングに関する課題

課題１

・歩行者や自転車がそれぞれ安全に通行できる環境が必要である。
・市民において、交通ルール・マナーの周知に不満を感じている割合が高い。
⇒誰もが安全・安心に歩けるよう広報啓発や交通安全教育を充実する必要がある。

課題２

・普段から意識して歩くようにしている人の割合は、50 代以上では高いものの、年齢が低くになるにつれて割合が低くなっている。
⇒日常生活の中で「歩く」割合をいかに高めるかなど、徒歩移動を促す方策が必要である。
・ＳＵＫＳＫが市民全体に浸透していない。
・ＳＵＫＳＫアプリの高齢者の参加率が低い。
⇒ＳＵＫＳＫアプリの使い方の周知や利用促進に向けた情報発信、説明会の開催等、対応策の検討が必要である。

課題３

・高齢者に優しい歩行空間の形成が必要である。
・ウォーキングを実施していない人の理由と、モデルコースに求める方針は、「気軽に実施する」という点で共通点がある。
・冬季は積雪による影響で、消雪化されていない区間は歩行者が歩きにくい状況がある。
⇒誰もが快適かつ気軽に歩ける歩行環境整備が必要である。
・「分かりやすいコース表示」や「休憩ができる拠点（立ち寄りスポット）の整備」のニーズに対応する必要がある。
⇒モデルコース設定に併せ、使いやすさに配慮する必要がある。

課題４

・市民において、運動により健康を増進する意識は高いものの、運動習慣の定着率は低い。
⇒運動し易い環境の整備が必要である。
・既存のウォーキングコースは、概ね市民ニーズに合致している。
・「冬期間でも利用できるコース」や「周辺に駐車場が整備されている等、自動車利用者も利用できるコース」や「鉄道駅やバス停からアクセスできる等、公共交通機関利用者も利用できるコース」といった、新たなニーズに対応する必要がある。
⇒多様なニーズに対応したウォーキングコース設定が必要である。

第３章　計画の目標と実施すべき施策及び取組内容

3-1　計画の目標

前章に整理した山形市におけるウォーキングの課題に対応するため、以下の４つの目標を掲げる。

【目標１】交通事故のない安全で安心な社会の実現

誰もが安全にウォーキングできるよう、交通安全に関する教育や啓発活動など、交通安全に関する活動を進め、交通事故のない安全で安心なまちづくりを目指す。

【目標２】日常生活における歩く習慣の定着促進（情報発信、イベント、ＳＵＫＳＫ）

ウォーキングに関心がない市民や、取り組む意向があるものの、機会や環境により取り組めない市民に対しては、関心を高めるきっかけづくりや、やりがいを高める仕組みづくりを目指す。

併せて、ウォーキングモデルコースや SUKSUK アプリが認知されていないことから、情報発信を強化する。

【目標３】歩きやすい歩行空間の整備（歩道自体のハード整備）

歩道整備や平坦性確保に加え、舗装などの適切な維持管理を行うことにより、子どもや高齢者など誰もが安全で快適に歩道を利用できる環境づくりを目指す。

市内の自転車・歩行者ネットワークおける歩行空間の分離・創出や、消雪道路の整備等、歩行環境の向上により、季節によらず市民及び来訪者が安全で快適な歩行を可能とする環境づくりを目指す。

【目標４】多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの充実（モデルコース設定）

現在のウォーキングモデルコースを基本としながら、身近な環境で気軽にウォーキング出来るモデルコースを設定するとともに、自動車や公共交通機関利用者でもウォーキングでできる環境の整備や、休憩スポットを整備することで、市民が無理することなくまちや地域を楽しみ、歩くことへの意欲を高める環境づくりを目指す。

※ウォーキングモデルコース：安全性や快適性を考慮した、山形市が設定または推奨するウォーキングコース

3-2　実施すべき施策及び取組内容

前項で掲げた目標達成のため、具体的に実施すべき施策とその取り組み内容を定める。

【目標１】交通事故のない安全で安心な社会の実現

施策１　交通ルール・マナーの啓発

① 交通安全意識の向上を図る広報啓発
② 交通安全情報の発信
③ 通学路周辺の安全点検等の実施
④ アフターコロナにおけるウォーキング等の推進

【目標２】日常生活における歩く習慣の定着促進（情報発信、イベント、ＳＵＫＳＫ）

施策２　歩くきっかけづくり

① 歩くことで得られる効果等を伝える情報発信
② 適切な歩き方講座等の開催
③ ウォーキングイベントの開催
④ 徒歩通勤の推進
⑤ 「ウォーキングの日」の設定

施策３　継続して歩きたくなる仕組みづくり

① ＳＵＫＳＫアプリの普及促進
② ＳＵＫＳＫアプリ対象事業の拡大
③ ＳＮＳ等によるＳＵＫＳＫに関する情報発信の強化

【目標３】歩きやすい歩行空間の整備（歩道自体のハード整備）

施策４　ウォーキング環境づくり

① 安全な歩行空間の整備・維持
② 快適な歩行環境の整備・維持
③ 冬期間でも歩行しやすい道路空間の整備
④ ウォーカブルなまちづくりの推進
⑤ 無電柱化による歩行空間整備
⑥ ウォーキングと公共交通との接続性の向上
⑦ ウォーキング拠点の整備

【目標４】多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの充実（モデルコース設定）

施策５　多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの設定・充実

① ウォーキングモデルコースの設定・充実
② ウォーキングマップ等の作成
③ パーク＆ウォーク普及に向けた取組推進
④ 店舗・コンビニ等と連携した受入サービスの充実

（1）目標１：交通事故のない安全で安心な社会の実現

施策１　交通ルール・マナーの啓発

随時実施：継続実施または条件が整い次第実施
順次実施：計画に基づき実施

取組内容①：交通安全意識の向上を図る広報啓発

取組内容

（１）学校や公民館、コミュニティセンターへのポスターの配布や、広報誌や市ホームページ、SNS 等を用いて、一人ひとりの交通安全の関心と意識を高めるための広報を行います。
（2）モデルコースマップやＳＵＫＳＫアプリへの交通安全情報の掲載や、冬期間の利用の注意啓発を行います。
（３）警察と関係団体と連携し、幼児や小中学生や高齢者など、ライフステージに応じた交通安全教室を実施し、交通事故の発生状況や注意喚起を行います。
（４）夜間の交通事故を防止するため、歩行者の反射材用品等の着用を推進します。

図　保育園での交通安全教室

図　小学校での交通安全教室

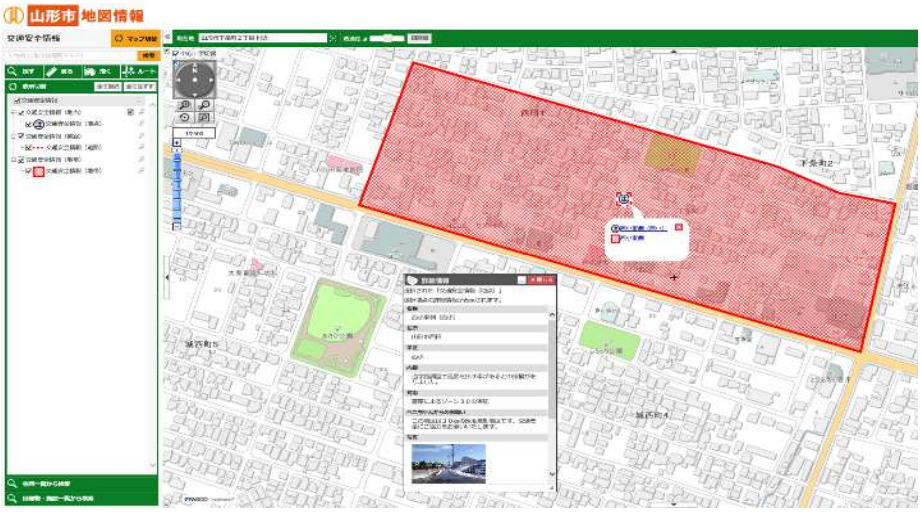
図　高齢者交通安全教室

出典：山形市 HP（市民課）

実施時期（年度）		2022	2023	2024	2025	2026	2027
		令和４	令和５	令和６	令和７	令和８	令和９
	（1）	←	—	随時実施	—	—	→
	（2）	←	—	随時実施	—	—	→
	（3）	←	—	随時実施	—	—	→
	（4）	←	—	随時実施	—	—	→

実施主体、連携する主体	山形市、警察、学校、福祉団体、保育事業者、関係団体

取組内容②：交通安全情報の発信

<table>
<tr><td rowspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）道路管理者や学校関係者、地区の住民と連携しながら、市内の交通安全情報をリアルタイムに発信し、危険箇所の共有を図ります。
 

出典：山形市地図情報（交通安全情報）</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022
令和４</td><td>2023
令和５</td><td>2024
令和６</td><td>2025
令和７</td><td>2026
令和８</td><td>2027
令和９</td></tr>
<tr><td></td><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、警察、学校、地区</td></tr>
</table>

取組内容③：通学路周辺の安全点検等の実施

<table>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="6">（１）道路管理者や学校関係者、地区の住民と連携した通学路の安全点検を実施します。
（２）通学路マップを作成して通学路内の危険個所の共有を図ります。
（３）小学校の登校時に、交通事故の発生の危険性の高い箇所等に交通指導員を配置し、立哨指導を行います。

図　山形市通学路交通安全プログラム合同点検実施箇所
出典：山形市 HP</td></tr>
<tr><td rowspan="4">実施時期
（年度）</td><td></td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td></td><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、警察、学校、地区</td></tr>
</table>

取組内容④：アフターコロナにおけるウォーキング等の推進

<table>
<tr><td colspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）コロナ禍のような感染症のまん延下において、感染拡大を防止するためのマナーやルールについて、モデルコースにおいて注意喚起するとともに、広報誌や市ホームページ、SNS 等で周知・啓発を行います。

図　コロナ禍におけるランニングマナー
出典：山形市役所 Facebook</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体</td></tr>
</table>

（2）目標２：日常生活における歩く習慣の定着促進
（情報発信、イベント、ＳＵＫＳＫ）

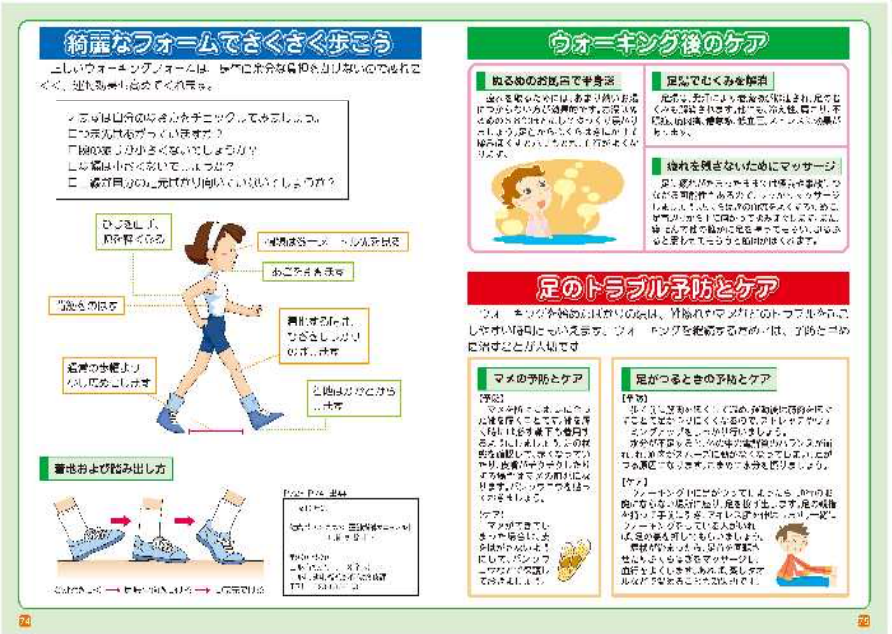
施策２　歩くきっかけづくり

取組内容①：歩くことで得られる効果等を伝える情報発信

<table>
<tr><td rowspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）歩くことによる健康づくりの意義や効果について、広報誌や市ホームページ、SNS 等のほか、ＳＵＫＳＫアプリや講習会等を通じて積極的な周知・啓発を行います。

出典：山形市ウォーキングマップ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">← 随時実施 →</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体</td></tr>
</table>

取組内容②：適切な歩き方講座等の開催

<table>
<tr><td rowspan="4">取組内容</td><td colspan="6">（１）一人ひとりに合った歩き方を学ぶことで、ケガや故障を減らし、ウォーキングの楽しさを実感しながら健康増進や運動を始めるきっかけをつくるため、歩き方講座の開催を検討します。併せて、多くの市民が講座に参加できるよう、動画配信も検討します。
 

出典：山形市ウォーキングマップ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td>検討・協議</td><td></td><td></td><td>随時実施</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="5">山形市、関係団体</td></tr>
</table>

取組内容③：ウォーキングイベントの開催

取組内容

（１）運動普及推進協議会等と連携し、ウォークラリーなどの参加者同士が交流しながら楽しく歩けるイベントを実施します。

（２）ストレッチ体操やヨガなど、他の運動とウォーキングを組み合わせたイベントの実施や、民間事業者が実施するウォーキングイベントと連携し、ウォーキングの魅力の積極的な発信に努めます。

（３）山形市の自然や温泉、歴史などの地域資源とウォーキングを組み合わせ、健康増進を図りながら観光振興にも資する取組を検討します。

（４）ノルディックウォークやスノーシューウォークなど、新しいウォーキング方法の紹介やイベントの開催を検討します。

図　健康ウォークラリー（山形市）

出典：山形市 HP（健康増進課）

実施時期（年度）		2022	2023	2024	2025	2026	2027
		令和４	令和５	令和６	令和７	令和８	令和９
	（１）	←		検討・協議・随時実施			→
	（２）	←		検討・協議・随時実施			→
	（３）	←		検討・協議・随時実施			→
	（４）	←		検討・協議・随時実施			→
実施主体、連携する主体	山形市、関係団体、民間事業者						

取組内容④：徒歩通勤の推進

<table>
<tr><td rowspan="4">取組内容</td><td colspan="6">（１）市民の健康維持・増進とともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、国の「エコ通勤優良事業所認証」の取組に賛同し、市内事業者の積極的な参加を促進します。
（２）山形市役所において「ノーマイカー通勤」運動を実施し、徒歩や公共交通、自転車などによる通勤に、率先して取り組みます。

（満10年以上20年未満）　（満20年以上30年未満）　（満30年以上）
認証制度ロゴマーク
出典：公益社団法人交通エコロジー・モビリティ財団</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td></td><td>（２）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="7">山形市、関係団体、民間事業者</td></tr>
</table>

取組内容⑤：「ウォーキングの日」の設定

<table>
<tr><td rowspan="4">取組内容</td><td colspan="6">（１）「ウォーキングの日」を設定することで、市民の歩くことに対する意識を高めるとともに、関連イベントを開催することで、市全体に歩く機運を醸成します。

出典：日本スポーツ・フォー・オール協議会（TAFISA-JAPAN）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td>検討・協議</td><td colspan="5">随時実施</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="7">山形市、関係団体</td></tr>
</table>

施策３　継続して歩きたくなる仕組みづくり

取組内容①：ＳＵＫＳＫアプリの普及促進

<table>
<tr><td rowspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）SUKSK アプリ（スマホアプリ）の使い方や活用方法の周知に向け、様々な媒体による情報発信を行い、SUKSK アプリの登録者や利用者の増加を図ります。
（２）高齢者の方も手軽に利用できるようＳＵＫＳＫアプリの登録や使い方、活用方法に関する説明会を開催します。
（３）ＳＵＫＳＫアプリのカメラ機能を活用した「フォトコンテスト」を開催し、アプリの利用を促進するとともに市民から投稿のあった歩いて行きたくなるスポット等の紹介を行います。
（４）山形市内に所在する事業者に対し、事業者単位でのＳＵＫＳＫアプリ登録を促し、山形市内に勤務する市外在住の従業員の参加を含め、組織としての健康経営を支援・促進します。

出典：広報やまがた</td></tr>
<tr><td>実施時期（年度）</td><td>2022
令和４</td><td>2023
令和５</td><td>2024
令和６</td><td>2025
令和７</td><td>2026
令和８</td><td>2027
令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">← 随時実施 →</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="6">← 随時実施 →</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td colspan="6">← 随時実施 →</td></tr>
<tr><td>（４）</td><td colspan="6">← 随時実施 →</td></tr>
<tr><td>実施主体、連携する主体</td><td colspan="6">山形市、市内企業</td></tr>
</table>

取組内容②：ＳＵＫＳＫアプリ対象事業の拡大

取組内容		（１）民間事業者が実施する健康増進イベント等について、ＳＵＫＳＫアプリのポイントが加算される対象事業に位置付けることにより、市民の様々な健康づくりの取組を推進し、健康増進と運動意欲向上につなげます。 （２）フィットネスクラブ等と連携し、日常的に施設等で運動を行っている方も、ＳＵＫＳＫアプリによるポイント事業に参加できるよう検討します。 （３）近隣市町と協議し、各市町が実施する健康増進イベント等をＳＵＫＳＫアプリポイント対象事業に加えることで、市民の運動意欲向上とイベントへの参加促進を図ります。 出典：山形市 HP（健康増進課）					
実施時期（年度）		2022 令和４	2023 令和５	2024 令和６	2025 令和７	2026 令和８	2027 令和９
	（１）	←		**検討・協議・随時実施**			→
	（２）	←		**検討・協議・随時実施**			→
	（３）	←		**検討・協議・随時実施**			→
実施主体、連携する主体		山形市、関係団体、山形連携中枢都市圏内の市町					

取組内容③：ＳＮＳ等によるＳＵＫＳＫに関する情報発信の強化

<table>
<tr><td colspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）ＳＵＫＳＫ生活やＳＵＫＳＫポイント事業について、ポスター掲示のほか、広報誌や市ホームページ、ＳＮＳ等により、様々な場面で積極的な情報発信を行うともに、イベント時やＳＮＳ等の活用等により、定期的なアンケート調査を実施し、結果を踏まえた改善に努めます。
（２）市内事業者の健康ポイント事業ＳＵＫＳＫを活用した健康づくりの取組を募集し、パンフレット等で取組内容を周知するとともに、事業者の参加意欲向上につながる方策を検討します。

出典：広報やまがた</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体、市内企業</td></tr>
</table>

（3）目標３：歩きやすい歩行空間の整備（歩道自体のハード整備）

施策４　ウォーキング環境づくり

取組内容①：安全な歩行空間の整備・維持

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="6">取組内容</td><td colspan="6">（１）歩行者が安全に通行できるよう、カーブミラーや道路照明などの交通安全施設の適切な設置、維持管理を図ります。
（２）既設道路の老朽化した舗装や誘導ブロックの補修を行い、歩行空間の維持管理を行います。
（３）高齢者やベビーカー、杖利用者、体の不自由な方などの転倒を防止し、安心して歩けるよう、歩道のバリアフリー化を進めていきます。
（４）自転車等放置防止条例に基づき、自転車等放置禁止区域の指定による自転車等の撤去を行うとともに、歩道等に駐輪されている自転車等の整理を行い、自転車や歩行者が安全かつ快適に通行できるスペースの確保に努めます。
（５）山間部のウォーキングモデルコースや遊歩道についても、歩行者が安心して通行できるよう、案内看板や道標の整備を進めていきます。また、転倒の防止や危険箇所の解消のため、老朽化した木道や木製階段等の補修や整備を行います。

出典：山形市 HP（道路維持課）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（４）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（５）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、河川管理者、警察、地権者</td></tr>
</table>

取組内容②：快適な歩行環境の整備・維持

<table>
<tr><td colspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）夜間における歩行者の安全確保や防犯防止を図るため、地区と連携しながら公衆街路灯の設置を推進します。
（２）公衆トイレについて、利用者が快適に使用できるよう、適切な維持管理や改修を行うとともに、利用者ニーズに合わせた適正な配置や冬期間の開放について検討します。
（３）人通りが多い主要な道路やウォーキングモデルコース上へのベンチの設置やポケットパーク等の休憩スポットの整備を進めます。
（４）山間部のウォーキングモデルコースや遊歩道についても、地区と連携しながら、定期的な巡回や草払いなどの適切な維持管理に努めます。

図　公衆トイレの美装化

出典：広報やまがた</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>（１）</td><td colspan="6">←――――――――――――随時実施――――――――――――→</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="6">←――――――――――――随時実施――――――――――――→</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td colspan="6">←――――――――――――随時実施――――――――――――→</td></tr>
<tr><td>（４）</td><td colspan="6">←――――――――――――随時実施――――――――――――→</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、河川管理者、地区、地権者</td></tr>
</table>

取組内容③：冬期間でも歩行しやすい道路空間の整備

<table>
<tr><td colspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）冬期間でも安全かつ快適に歩くことができるよう、山形市消雪道路整備計画に基づき、消雪道路のネットワーク化に向けて、無散水消雪等の消雪設備の整備を行います。
（２）市民や観光客など、利用者が多い都市公園内の通路について、消雪設備の整備について検討を行います。
（３）老朽化に伴い機能低下が見込まれる消雪設備について、計画的に更新を進め、歩行しやすい道路空間の維持に努めます。
（４）消雪設備の無い路線であって、歩行者交通量の多い路線については、道路の除排雪を行い冬期間の快適な歩行空間を整備します。

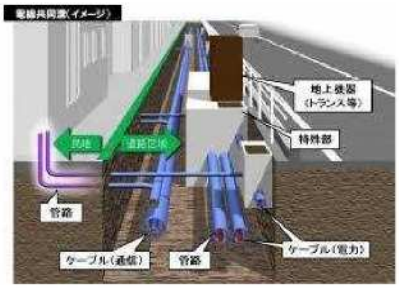
出典：山形県雪対策基本計画（第４次）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>（１）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td colspan="6">検討・協議・随時実施</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td>（４）</td><td colspan="6">随時実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、公園管理者</td></tr>
</table>

取組内容④：ウォーカブルなまちづくりの推進

<table>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="6">（１）居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり（ウォーカブルなまちづくり）を推進し、車両と隔離した歩行者の通行空間を確保するため、道路空間の再配分等について検討します。
（２）中心市街地における歩行者ネットワークの形成や、路外駐車場対策を実施し、安全安心な歩行を可能とする環境づくりを目指します。

出典：広報やまがた</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実施時期
（年度）</td><td></td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td></td><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td>社会実験</td><td></td><td></td><td>随時実施</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>（２）</td><td></td><td></td><td>随時実施</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体、商店街</td></tr>
</table>

取組内容⑤：無電柱化による歩行空間整備

<table>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="6">（１）山形市無電柱化推進計画を推進し、新たな無電柱化整備候補路線の追加を行うなど、快適な歩行空間の整備を進めます。
 

電線共同溝のイメージ（出典：国土交通省）

ソフト地中化の例（山形市七日町地内）
図　無電柱化（電線共同溝方式）
出典：山形市無電柱化推進計画</td></tr>
<tr><td rowspan="3">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">←　検討・協議・随時実施　→</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者</td></tr>
</table>

取組内容⑥：ウォーキングと公共交通との接続性の向上

<table>
<tr><td rowspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）公共交通機関利用者の利便性を考慮し、山形市地域公共交通計画を推進し、交通結節点を起点としたウォーキングモデルコースの整備を検討します。
（交通結節点）
定義：・鉄道やバスに加え、ウォーキングロードやサイクリングロードなど複数の交通手段が交差し、乗り換えの規模や周辺の状況等から重要な拠点となる規模や能力
想定する場所：・鉄道駅
・地域の主要な施設等
（公民館、コミュニティセンター、総合病院、大学・高校周辺、スポーツ施設、公園、商業施設、道の駅など）
・その他
（山形駅東口ビブレ跡地など、今後の土地利用検討と併せて場所を検討）
※乗り換えの規模や周辺の状況等により場所を設定する。
担うべき機能の例：・乗り換え機能（快適なバス待ち環境、運行情報提供、駐車場など）
・拠点形成機能（地域の中心となる場）
・ランドマーク機能（シンボル性）
※乗り換えの規模や周辺の状況等により機能を設定する。

成熟が大きい交通結節点のイメージ
出典：山形市地域公共交通計画</td></tr>
<tr><td>実施時期
（年度）</td><td>2022
令和４</td><td>2023
令和５</td><td>2024
令和６</td><td>2025
令和７</td><td>2026
令和８</td><td>2027
令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td colspan="6">交通結節点整備方針の策定 → 交通結節点を起点としたモデルコースの検討 → 順次実施</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、交通事業者</td></tr>
</table>

取組内容⑦：ウォーキング拠点の整備

<table>
<tr><td colspan="2">取組内容</td><td colspan="6">（１）利用者の多いモデルコース沿いの公共施設について、トイレ利用や気軽に休憩等ができる拠点化を検討します。
（２）ウォーキング拠点にはトレッキングポールやベンチなどの休憩施設の設置等を検討します。

図　ウォーキング拠点の設置（道の駅かくだ）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>（１）</td><td>既存モデルコース見直し</td><td>整備方針検討
新規モデルコース設定</td><td colspan="4">順次実施</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td></td><td colspan="4">順次実施</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市</td></tr>
</table>

（4）目標４：多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの充実（モデルコース設定）

施策５　多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの設定・充実

取組内容①：ウォーキングモデルコースの設定・充実

<table>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="6">（１）モデルコースの設定・推奨にあたり、安全性等を審査する組織を設置し、審査基準を策定します。
（２）市民や観光客のニーズや利便性・安全性に考慮しながら、既存のウォーキングコースの見直しや充実を図ります。また、新たなモデルコースとして、健康増進効果を高めるため、健康遊具を設置している公園や児童遊園に立ち寄れるコースや、冬期間でも安心してウォーキングできるコース、霞城公園をはじめ、山形市の四季折々の魅力を象徴的に体験できるコースなどを設定します。
（３）市内各地区等で独自に設定しているウォーキングコースを推奨する制度を創設し、市内各所の様々な魅力を感じることができるコースの充実を図ります。
（４）モデルコースには、距離や消費カロリー、食事換算目安など、運動の効果が分かる統一したデザインの案内看板等を設置し、分かりやすいコース表示を進めるとともに、ウォーキングを継続したくなるような仕組みづくりを行います。
図　元気つるがしま健康ウォーキング（鶴ヶ島市）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td colspan="2">2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td colspan="2">令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>（１）</td><td colspan="6">・審査組織設置
・審査基準策定</td></tr>
<tr><td>（２）</td><td>既存モデルコース見直し</td><td>新規モデルコース設定</td><td colspan="4">随時コース設定</td></tr>
<tr><td>（３）</td><td></td><td></td><td>地区独自モデルコース推奨</td><td colspan="3">随時コース推奨</td></tr>
<tr><td>（４）</td><td>案内看板等決定</td><td colspan="5">地区等との調整・コース設定・推奨後順次設置</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、道路管理者、警察、交通事業者、関係団体、地区、市民</td></tr>
</table>

取組内容②：ウォーキングマップ等の作成

<table>
<tr><td rowspan="4">取組内容</td><td colspan="6">（１）モデルコースについては、ＳＵＫＳＫ アプリに表示しポイント加算の対象とするほか、マップを作成し、健康増進効果やコースの魅力のほか、トイレや休憩ポイント、最寄りの公共交通機関等を示し、多様な市民が気軽に安心して利用できるよう市民への周知を図ります。

図　山形市ウォーキングマップ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td>既存モデルコース見直し</td><td>新規モデルコース設定</td><td colspan="4">随時実施</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体</td></tr>
</table>

取組内容③：パーク＆ウォーク普及に向けた取組推進

<table>
<tr><td rowspan="4">取組内容</td><td colspan="6">（１）周辺に駐車場がないモデルコースについて、コース周辺の施設や店舗等と連携し、駐車場が利用できる環境整備に努め、自動車利用者の利便性向上を図ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施時期
（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td>既存モデルコース見直し</td><td>新規モデルコース設定</td><td colspan="4">随時実施</td></tr>
<tr><td>実施主体、
連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体、市内企業等</td></tr>
</table>

取組内容④：店舗・コンビニ等と連携した受入サービスの充実

<table>
<tr><td rowspan="4">取組内容</td><td colspan="6">（１）モデルコース沿いの店舗等と連携し、ベンチの設置やトイレの利用など、利用者の利便性の向上を図ります。

図　まちなか休憩所（恵庭市）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施時期（年度）</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td><td>2025</td><td>2026</td><td>2027</td></tr>
<tr><td>令和４</td><td>令和５</td><td>令和６</td><td>令和７</td><td>令和８</td><td>令和９</td></tr>
<tr><td>（１）</td><td>既存モデルコース見直し</td><td>新規モデルコース設定</td><td colspan="4">随時実施</td></tr>
<tr><td>実施主体、連携する主体</td><td colspan="6">山形市、関係団体、市内企業等</td></tr>
</table>

第４章　計画の推進体制、フォローアップ及び見直し

4-1　計画の推進体制について

本計画の推進にあたっては、道路管理者・交通管理者・関係行政機関・市民等が相互に連携し、各取組みを一体的に推進していくことが重要である。このため、必要に応じて各種施策の進捗等を行うための協議を関係機関と開催しながら計画を推進していく。

また、ルールの遵守・マナーの向上は、地域住民・学生・NPO 団体等相互に協力することが重要であることから、山形市が中心となって、多様な主体の参画を促していくことで、より良い歩行環境の実現を目指していく。

各施策を実施する際には、施策間の連携を図り、効率的勝効果的に施策を進めるものとする。

4-2　計画の推進に向けて

計画を推進していくにあたり､図のような PDCA サイクルを目指していくものとする。

計画期間内に各取り組み内容を実行し、評価を行い、必要に応じた見直しを行う。また、法令や、関係する計画の動向に合わせた見直しを行う。

■計画推進のためのサイクル

4-3　目標指標の設定

本計画の進捗を確認するため、目標指標を以下のとおり設定する。
継続的に目標指標の評価を行い、必要に応じて取組の見直しを行います。

（1）目標指標

No	目標指標名	現状値 （令和2年度）	目標値 （令和9年度）
①	山形市交通安全計画の推進	―	―
②	山形市健康ポイント事業SUKSK（スクスク） 参加者数（スマホアプリ及び歩数計利用者） （年間）	4,407人	27,000人 （令和10年度）
③	山形市健康ポイント事業SUKSK（スクスク） 参加者の8,000歩以上歩く人の割合 （年間）	18%	20% （令和6年度）
③´	山形市健康ポイント事業SUKSK（スクスク） 登録者の年間平均歩数 （スマートフォン参加者）	6,066歩 （令和5年度）	6,566歩 （令和10年度）
④	ウォーキングイベント参加者数 （年間）	―	初年度の20%増加
⑤	ウォーキング拠点の整備箇所数 （累計）	―	2箇所
⑥	ウォーキングモデルコース（※）の設定数 （累計）	23コース	30コース
⑦	山形市健康ポイント事業SUKSK（スクスク） 参加者のうち、ウォーキングモデルコースを利用した人数 （累計）	1,562人	10,000人

※ウォーキングモデルコース：安全性や快適性を考慮した、山形市が設定または推奨するウォーキングコース

※②・③´目標指標：関連計画である山形市健康プラン2035に基づき、令和10年度までの目標を設定

（2）各取組内容と目標指標の関連性

目標	施策	取組内容	目標指標						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
			山形市交通安全計画の推進	SUKSK参加者数	SUKSK参加者の8,000歩以上歩く人の割合	ウォーキングイベント参加者数	ウォーキング拠点の整備箇所数	ウォーキングモデルコースの設定数	ウォーキングモデルコースを利用したことがある人数
【目標1】交通事故のない安全で安心な社会の実現	施策1 交通ルール・マナーの啓発	①交通安全意識の向上を図る広報啓発活動	○						
		②交通安全情報の発信	○						
		③通学路周辺の安全点検等の実施	○						
		④アフターコロナにおけるウォーキング等の推進		○	○	○			○
【目標2】日常生活における歩く習慣の定着促進(情報発信、イベント、SUKSK)	施策2 歩くきっかけづくり	①歩くことで得られる効果等を伝える情報発信		○	○	○			○
		②適切な歩き方講座等の開催		○	○	○			○
		③ウォーキングイベントの開催		○	○	○			○
		④徒歩運動の推進		○	○	○			○
		⑤「ウォーキングの日」の設定		○	○	○			○
	施策3 継続して歩きたくなる仕組みづくり	①SUKSKアプリの普及促進		○	○	○			○
		②SUKSKアプリ対象事業の拡大		○	○	○			○
		③SNS等によるSUKSKに関する情報発信の強化		○	○	○			○
【目標3】歩きやすい歩行空間の整備（歩道自体のハード整備）	施策4 ウォーキング環境づくり	①安全な歩行空間の整備・維持		○	○				○
		②快適な歩行環境の整備・維持		○	○				○
		③冬期間でも歩行しやすい道路空間の整備		○	○				○
		④ウォーカブルなまちづくりの推進		○	○				○
		⑤無電柱化による歩行空間整備		○	○				○
		⑥ウォーキングと公共交通との接続性の向上		○	○			○	○
		⑦ウォーキング拠点の整備		○	○		○		○
【目標4】多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの充実(モデルコース設定)	施策5 多様なニーズに対応したウォーキングモデルコースの設定・充実	①ウォーキングモデルコースの設定・充実		○	○		○	○	○
		②ウォーキングマップ等の作成		○	○				○
		③パーク＆ウォーク普及に向けた取組推進		○	○				○
		④店舗・コンビニ等と連携した受入サービスの充実		○	○				○

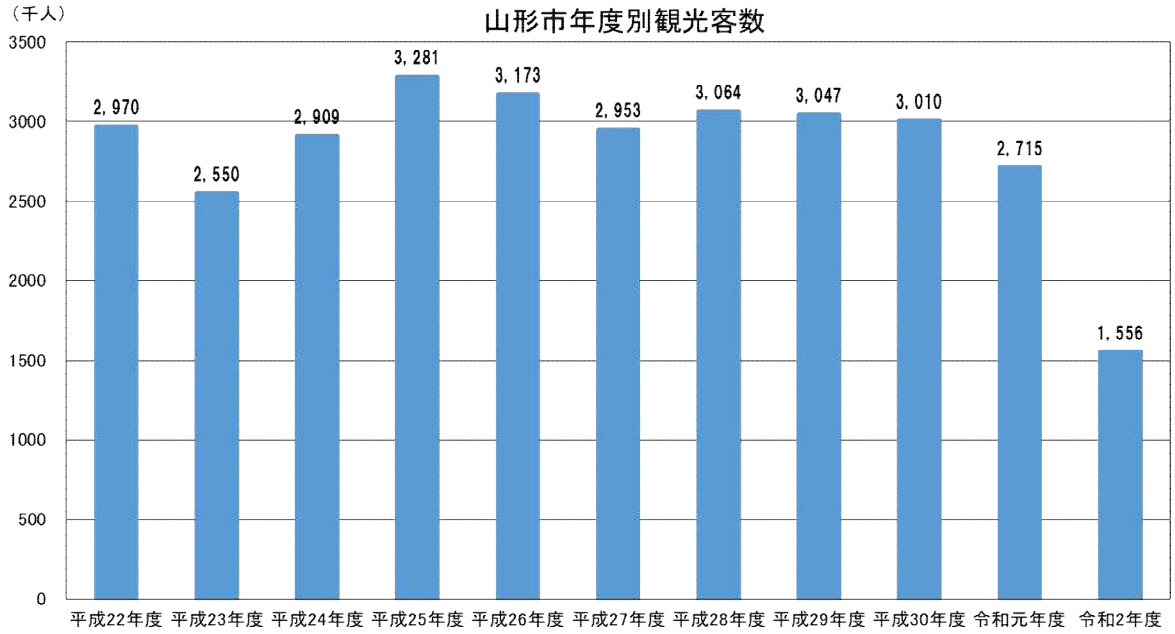
資料編

１．本市の特性及び歩行者を取り巻く現状

1-1　観光入込客等の状況

山形市への観光客入込数は、平成２３年３月に発生した東日本大震災の影響で平成２３年度に落ち込みが見られたものの、平成２３年度から平成２５年度にかけて増加傾向に転じている。その後、平成２７年４月から６月にかけて発表された蔵王山の火口周辺警報により、平成２７年度はやや入込数が落ち込んだものの、平成２８年度には回復の動きが見られている。

個別の観光地では、蔵王においてはスキー場利用客の減少傾向が続いていることから微減傾向となっていることや、山寺においては平成２５年に立石寺の御開帳が実施されたため大きな伸びが見られたものの、全般的に横ばい傾向が続いている。一方、市街地においては山形まるごと館紅の蔵、山形まなび館、七日町御殿堰などで微増傾向が続いている。



出典：山形市観光戦略課

1-2　通学路の指定状況

山形市の通学路の指定状況は下図の通りである。

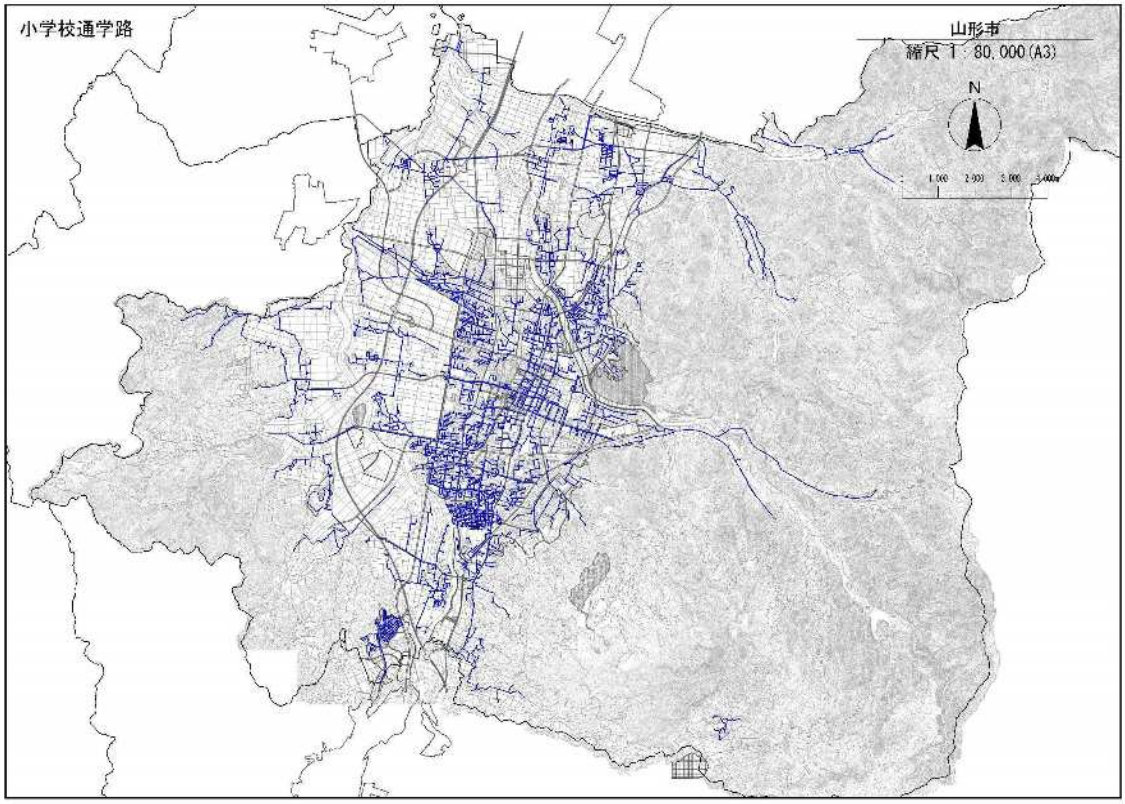


図-1　小学校通学路

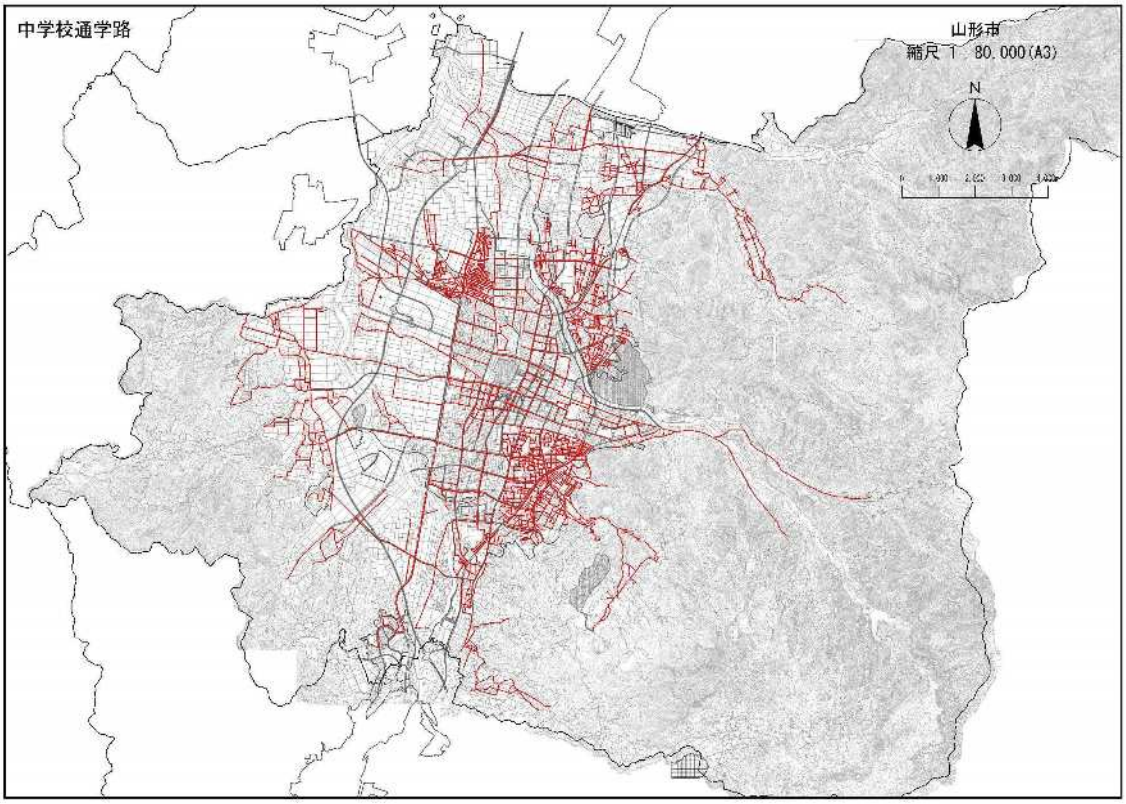


図-2　中学校通学路

1-3　地域資源

(1) 病院、一般診療所の立地状況

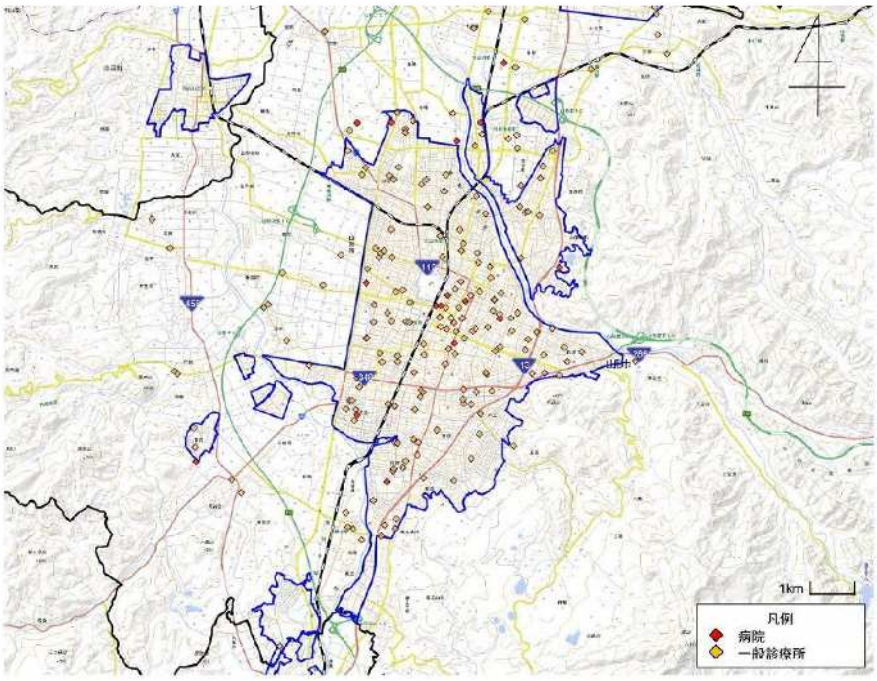


図 2-9　病院、一般診療所の分布状況

※内科、小児科が対象（眼科、歯科、整形外科などを除く）

出典：山形県医療機関情報ネットワーク、国土地理院ウェブサイト

出典：山形市立地適正化計画

(2) 商業施設の立地状況

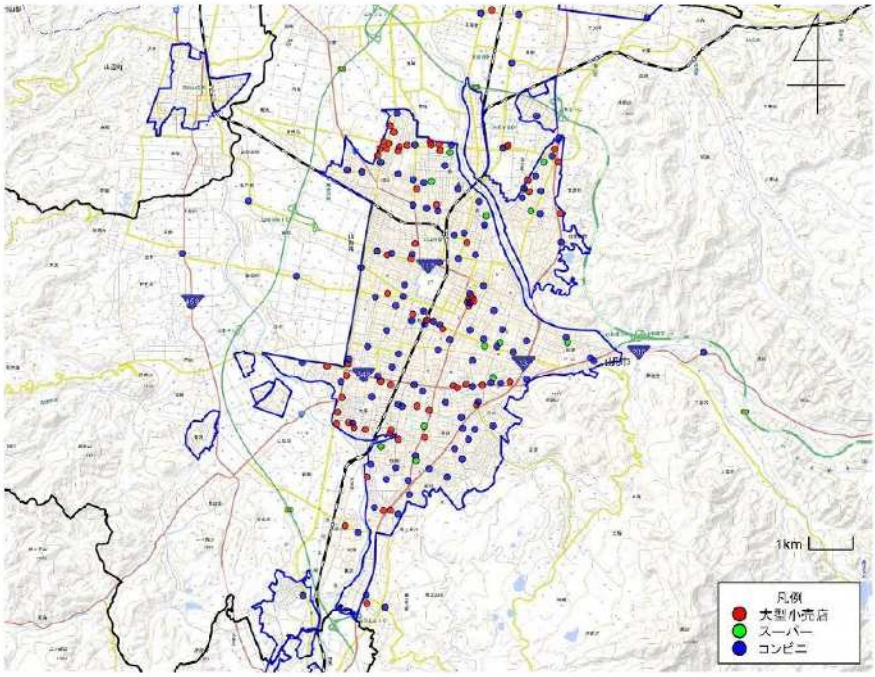


図 2-11　商業施設の分布状況

出典：全国大型小売店総覧（東洋経済新報社）、全国スーパーマーケットマップ、

全国都道府県別 SC 一覧、NAVITIME（民間地図サイト）など、国土地理院ウェブサイト

出典：山形市立地適正化計画

(3) 公共公益施設（各学校含む）の立地状況

a) 教育関連施設

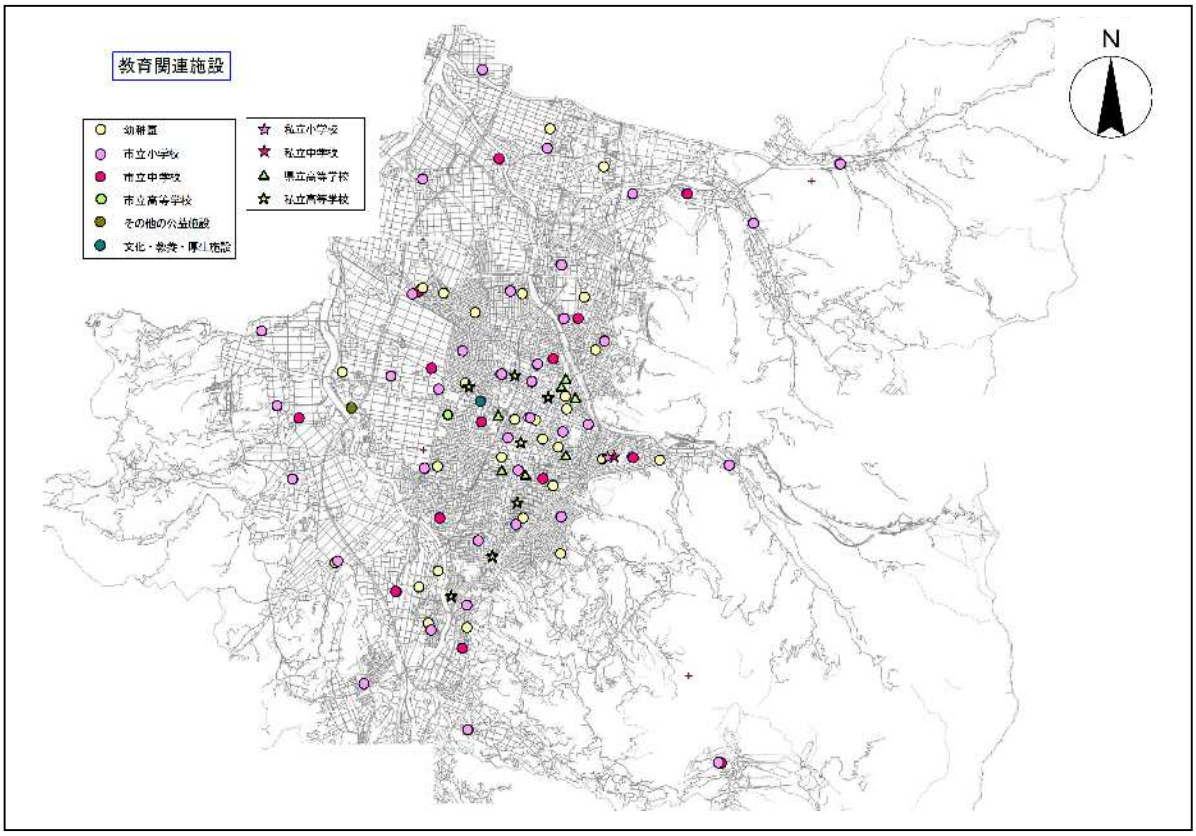


図-3　教育関連施設配置図

b) 子育て支援施設

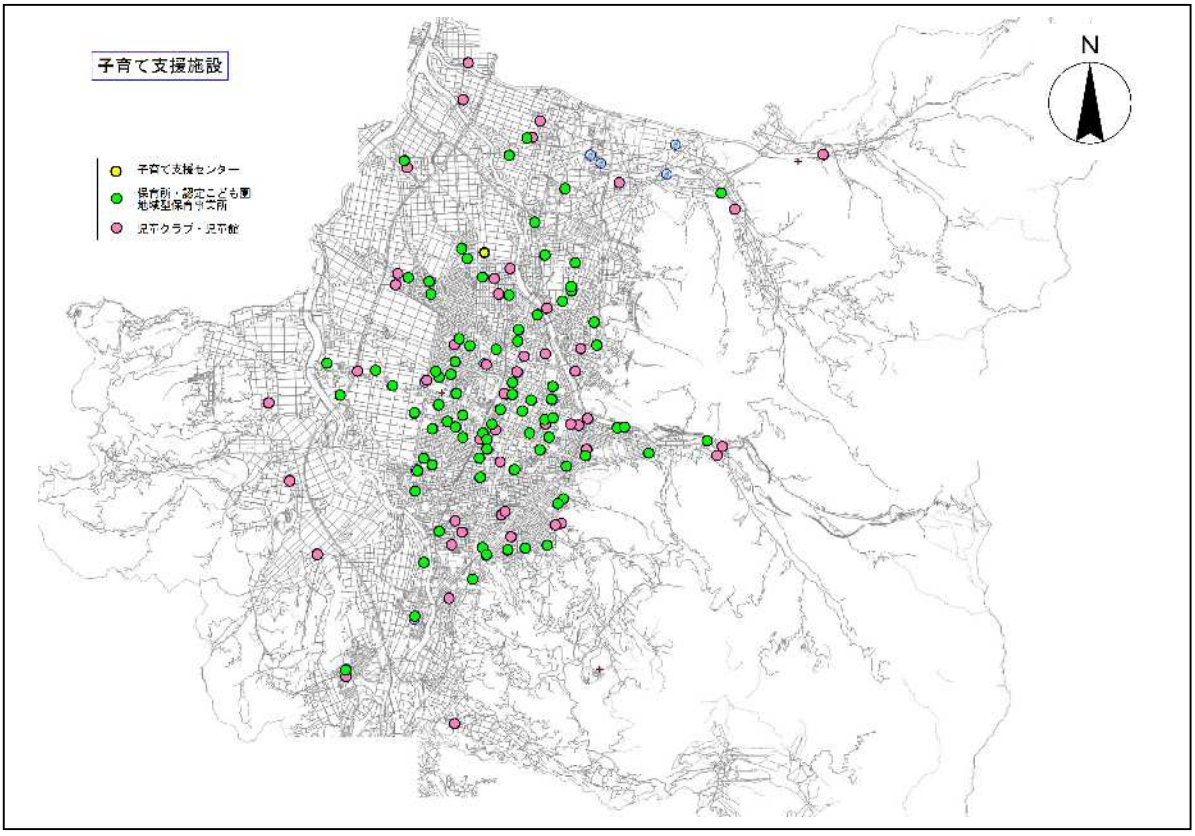


図-4　子育て支援施設配置図

c）文化・スポーツ関連施設

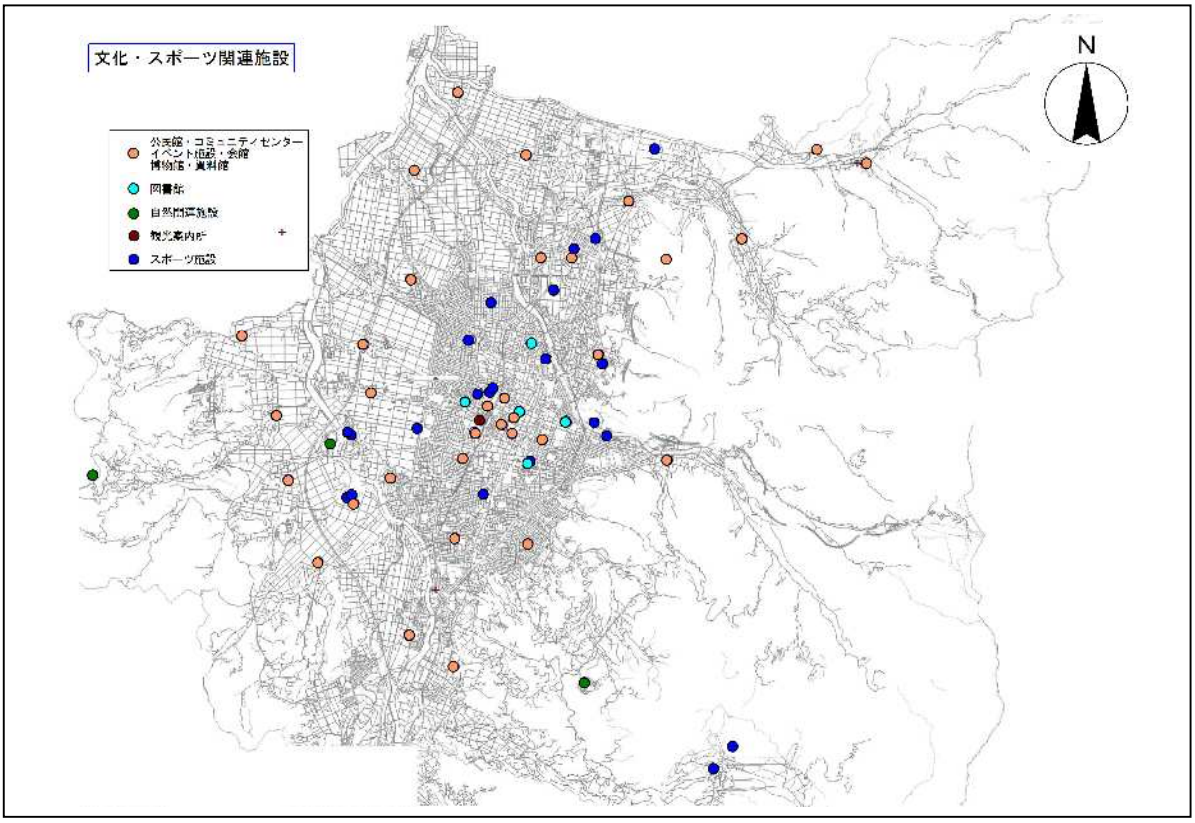
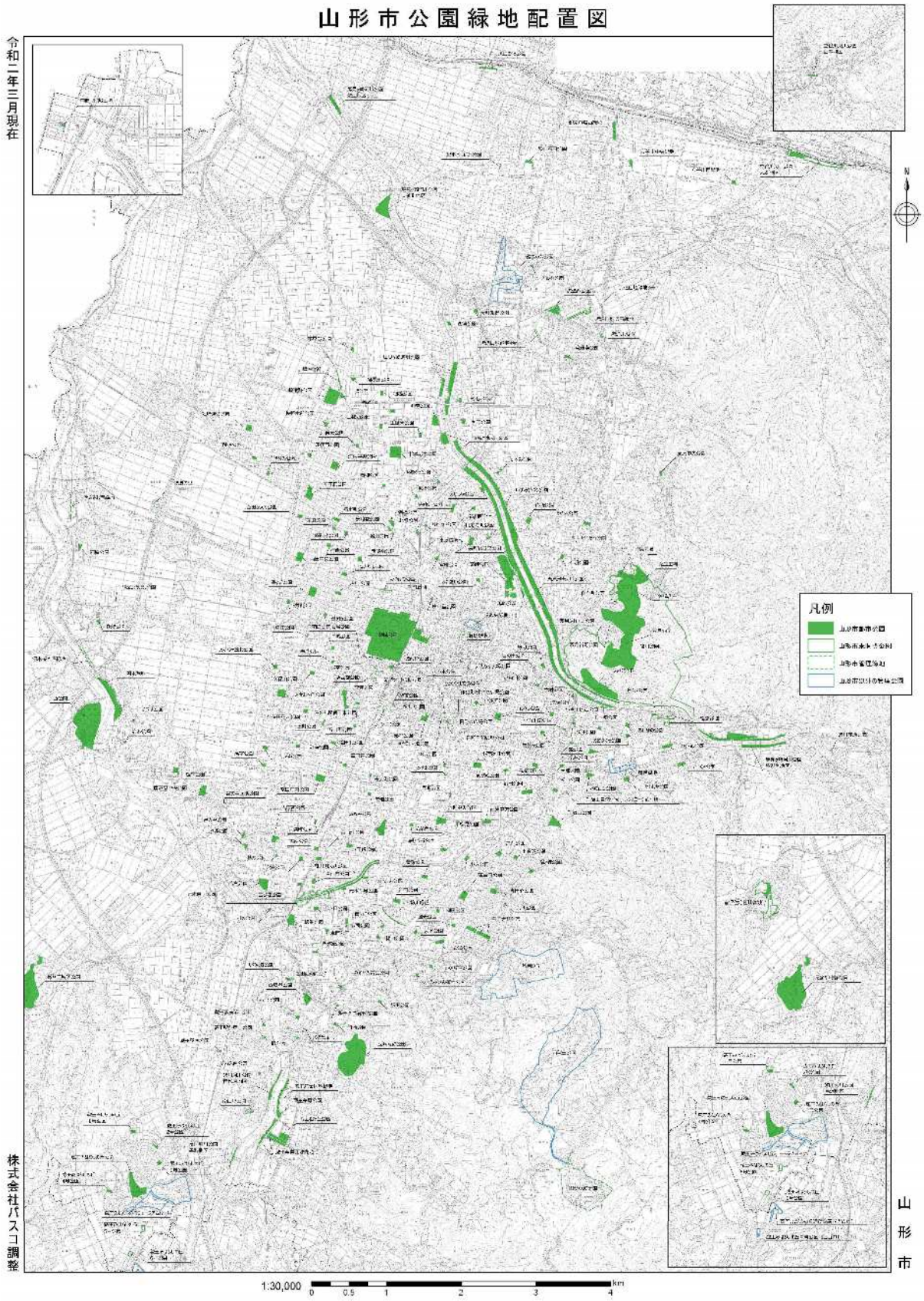


図-5　文化・スポーツ施設配置図

（4）公園・緑地の整備状況

市内の公園緑地の整備状況は下図の通りである。



出典：山形市資料

山形市において、健康増進器具（遊具）が配置されている公園は下表の通りである。

（参考資料）

○山形市が管理している都市公園数：２２９公園（令和２年３月末現在）

○現在、健康増進器具（健康遊具）が設置されている公園

２２公園　５７基

	公園名	場所	施工者	健康遊具の種類
1	本屋敷公園	嶋北	区画整理事業	①背伸ばしベンチ ②バランス円盤 ③サイクルステーション
2	河原田公園	嶋北	〃	①腹筋台　②鉄棒　③背伸ばしステーション
3	梅の木前公園	嶋南	〃	①バランス円盤　②ステップバランス
4	二ッ塚公園	吉原	〃	①健康歩道遊具
5	城南橋公園	城南町	〃	①健康歩道遊具　②背伸ばしステーション
6	蔵王美原公園	蔵王 松ヶ丘	〃	①腹筋＆背伸ばしベンチ、 ②アーチラダー　③ウッドクライム ④シャンピングボード＆ポール ⑤懸垂平行棒　⑥パネ付平行棒
7	西公園	大字門伝	事業団施工	①腹筋＆背伸ばしベンチ　②アーチラダー ③パラレルスロープ　④ツイストスツール
8	諏訪町さわやか広場	十日町	区画整理事業	①健康歩道遊具
9	坂巻公園	桜田西	〃	①背伸ばしベンチ　②あん馬　③あん馬ベンチ ④平均台
10	三つ江公園	若宮	〃	①腹筋ベンチ
11	沼木公園	沼木	公園緑地課	①腹筋台　②背伸ばしベンチ
12	芸工大前公園	上桜田	区画整理事業	①平均台
13	卸売市場西緑地	漆山	公園緑地課	①腹筋台　②背伸ばしベンチ
14	立谷川南緑地	立谷川	〃	①腹筋台　②背伸ばしベンチ
15	蔵王産業団地緑地	蔵王 松ヶ丘	〃	①腹筋ベンチ　②背伸ばしベンチ
16	蔵王みはらしの丘 4号公園 (H25.4完成)	蔵王みはらしの丘	〃	①背伸ばしベンチ　②ストレッチチェアー ③ジャンプステップ　④ジャンプステップ ⑤ツイストバー　⑥座位体前屈　⑦ぶら下がり
17	嶋遺跡公園	嶋北	〃	①背伸ばしベンチ　②長座体前屈&上体そらし ③ストレッチチェアー　④ツイストバー ⑤ジャンプタッチ　⑥ウェーブ平行棒 ⑦ぶら下がり　⑧平均台
18	清住公園	清住町	〃	①ぶら下がり
19	美畑公園	美畑町	〃	①平均台
20	馬畔公園	薬師町二丁目	〃	①ふみいたストレッチ　②背伸ばしベンチ
21	本面公園	桜田西二丁目	〃	①背伸ばしベンチ
22	桧葉の木公園	桧町三丁目	〃	①ウォールクライム　(R2年6月中旬設置予定)

出典：山形市資料

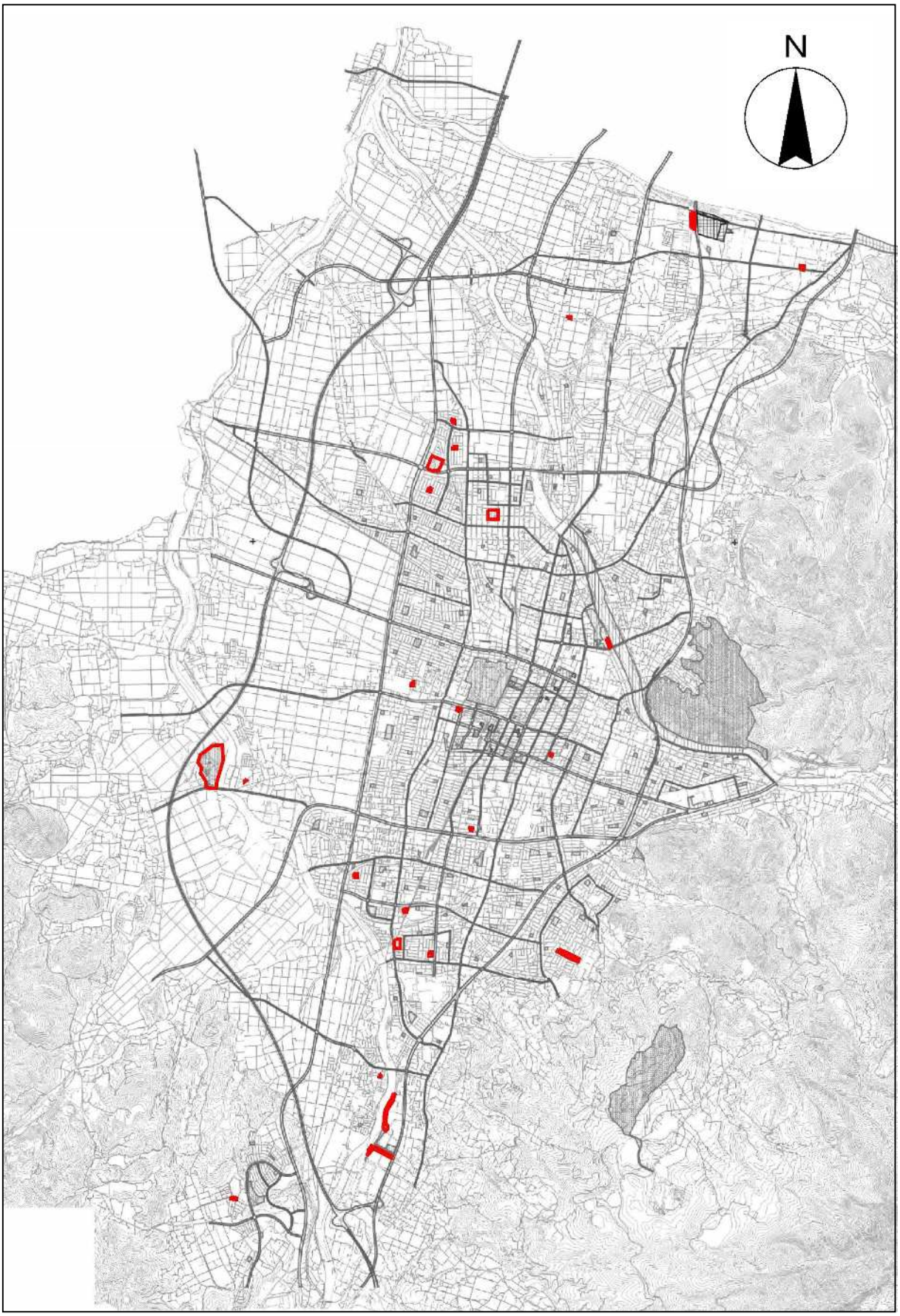


図-6　健康遊具設置公園位置図

２．市民アンケート調査

（1）調査の概要

1） 実施期間

発送：令和 3 年 4 月 12 日（月）　～　投函期限：4 月 30 日（金）

2） 調査対象者

調査対象：住民基本台帳登録市民（15～79 歳）のうち無作為抽出 1,500 人

3） 調査票の配布・回収方法

配布：郵送配布

回収：郵送回収

4） 回収票数

発送票数：1,500 票

回収票数：602 票　回収率：40.1％

（2）調査結果（単純集計）

＊四捨五入の関係上、合計が 100%にならない場合があります。

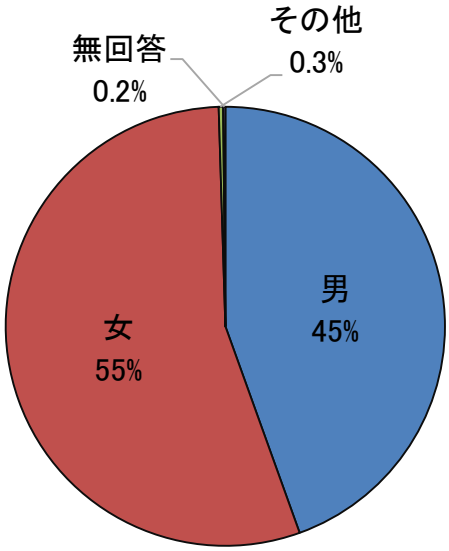
【問 1】アンケートの回答者について

1）性別について

・性別は、「男」が 45%、「女」が 55%となっている。

（単位：人）

選択項目	人数
男	268
女	331
その他	2
無回答	1
計	602

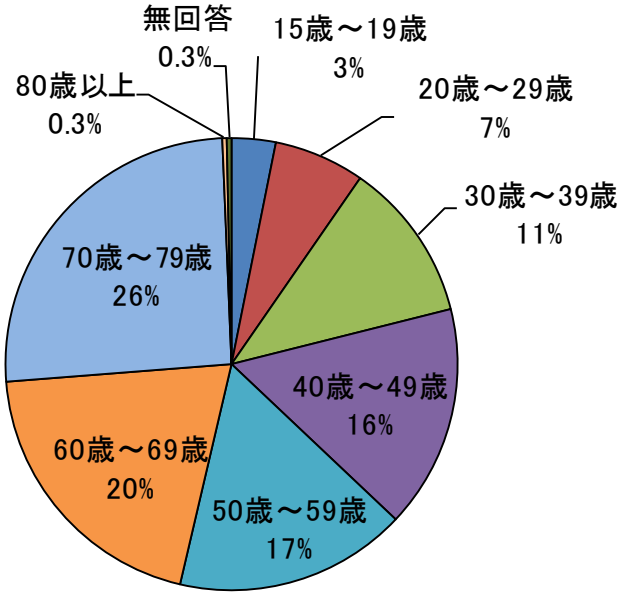


2）年齢について

・年齢構成は、「70～79 歳」が 26%と最も多く、次いで、「60～69 歳」が 20%となっている。

（単位：人）

選択項目	人数
15 歳～19 歳	19
20 歳～29 歳	39
30 歳～39 歳	69
40 歳～49 歳	96
50 歳～59 歳	100
60 歳～69 歳	121
70 歳～79 歳	154
80 歳以上	2
無回答	2
計	602

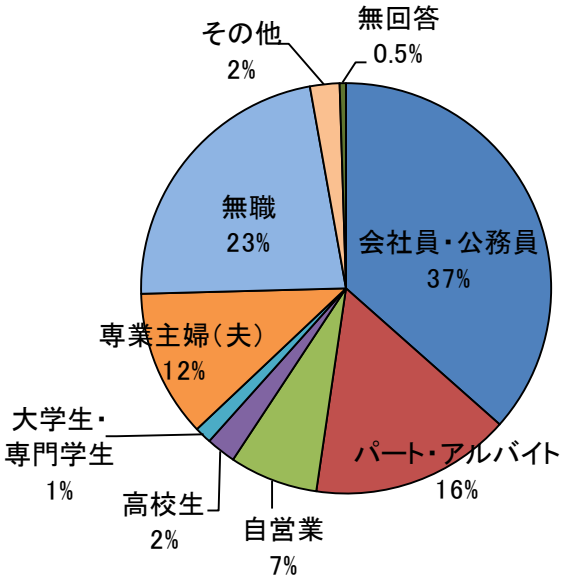


3）職業について

・職業は、**「会社員・公務員」**が 37%と最も多く、次いで**「無職」**が 23%となっている。

（単位：人）

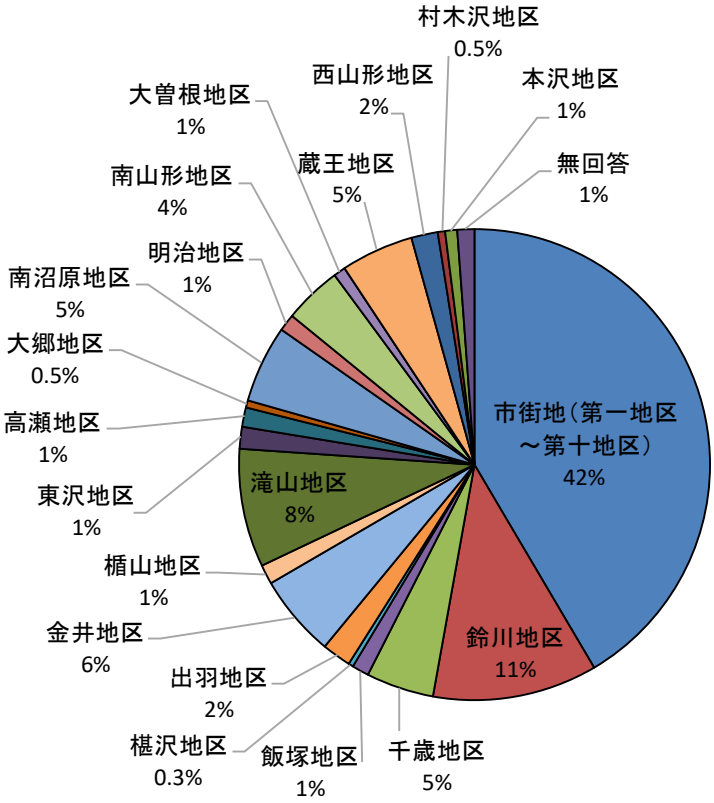
選択項目	人数
会社員・公務員	220
パート・アルバイト	95
自営業	42
高校生	14
大学生・専門学生	8
専業主婦（夫）	70
無職	136
その他	14
無回答	3
計	602



4）居住地区について

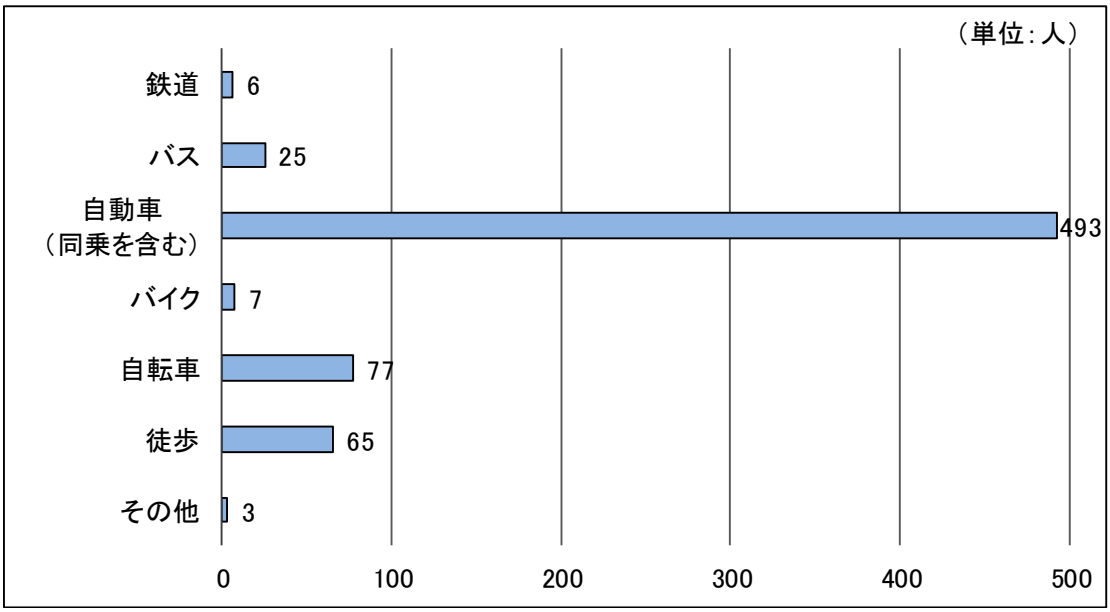
・居住区域は、**「市街地（第一地区～第十地区）」**が 42%と最も多く、次いで**「鈴川地区」**が 11%となっている。

選択項目	人数
市街地（第一地区～第十地区）	250
鈴川地区	68
千歳地区	28
飯塚地区	7
椹沢地区	2
出羽地区	12
金井地区	34
楯山地区	8
滝山地区	49
東沢地区	9
高瀬地区	8
大郷地区	3
南沼原地区	32
明治地区	7
南山形地区	24
大曽根地区	5
山寺地区	0
蔵王地区	30
西山形地区	11
村木沢地区	3
本沢地区	5
無回答	7
計	602



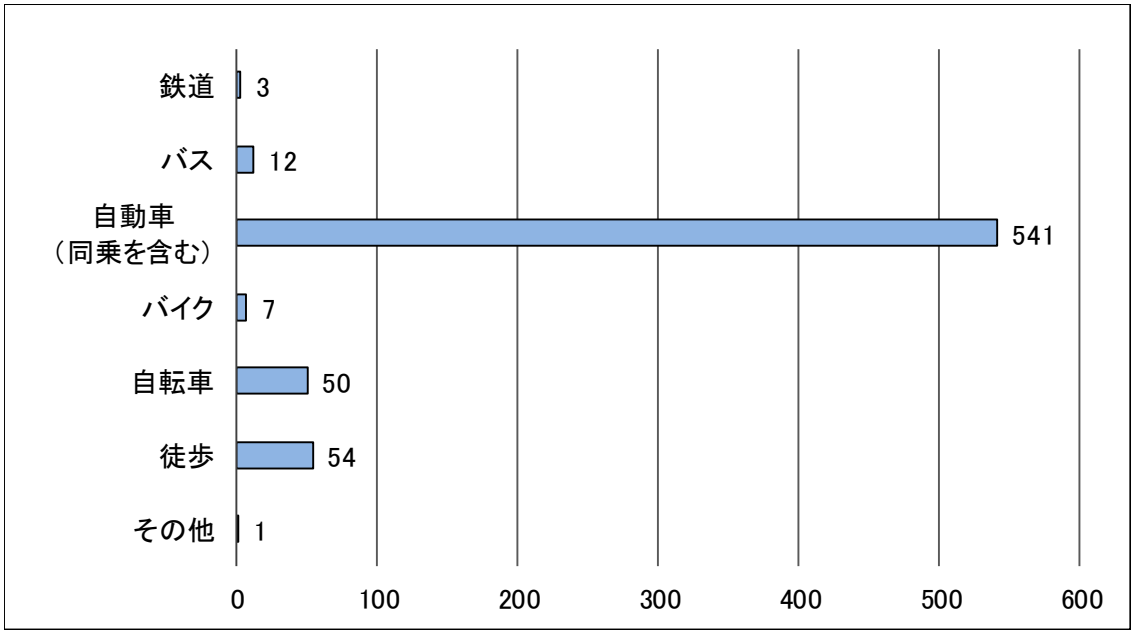
5）主な交通手段（平日）について

・主な交通手段（平日）は、**「自動車（同乗を含む）」**が 493 人と最も多く、次いで**「自転車」**が 77 人となっている。



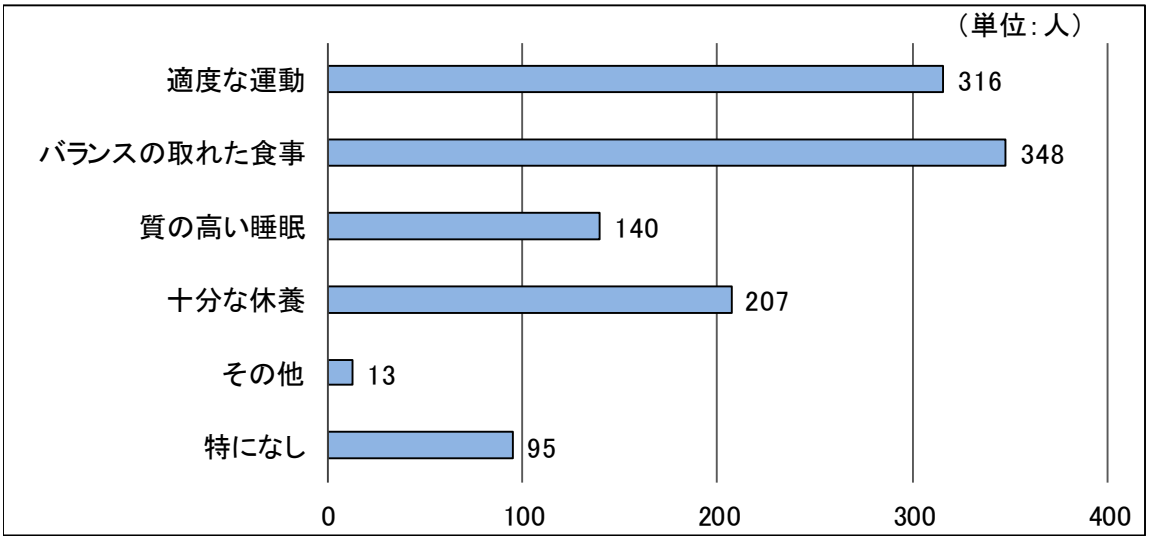
6）主な交通手段（休日）について

・主な交通手段（休日）は、**「自動車（同乗を含む）」**が 541 人と最も多く、次いで**「徒歩」**が 54 人となっている。



【問 2】健康のために心がけていることについて（※複数回答可）

・健康のために心がけていることは、**「バランスの取れた食事」**が 348 人と最も多く、次いで**「適度な運動」**が 316 人となっている。

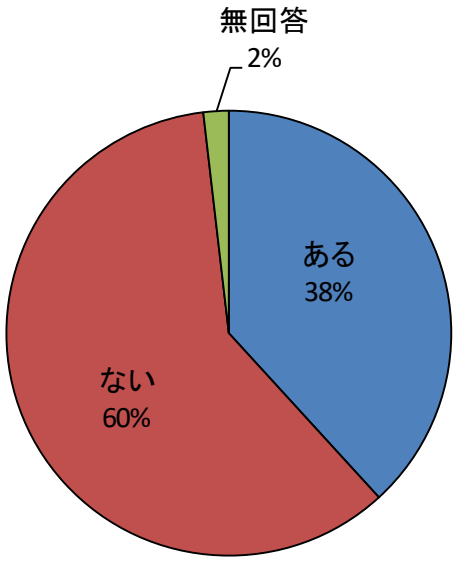


【問3】運動習慣について

・運動習慣については、**「ある」**が 38%、**「ない」**が 60%と半数以上となっている。

（単位：人）

選択項目	人数
ある	230
ない	361
無回答	11
計	602

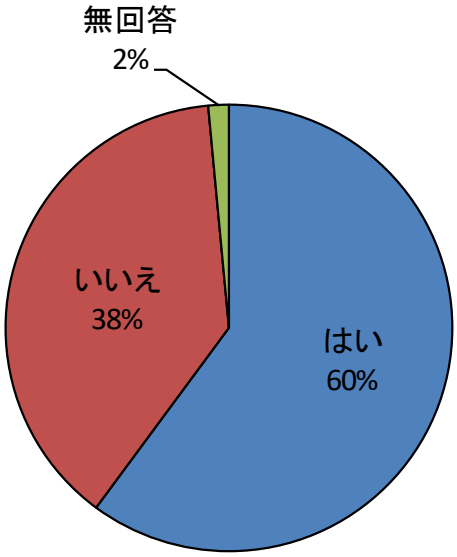


【問16】ウォーキングの実施状況について

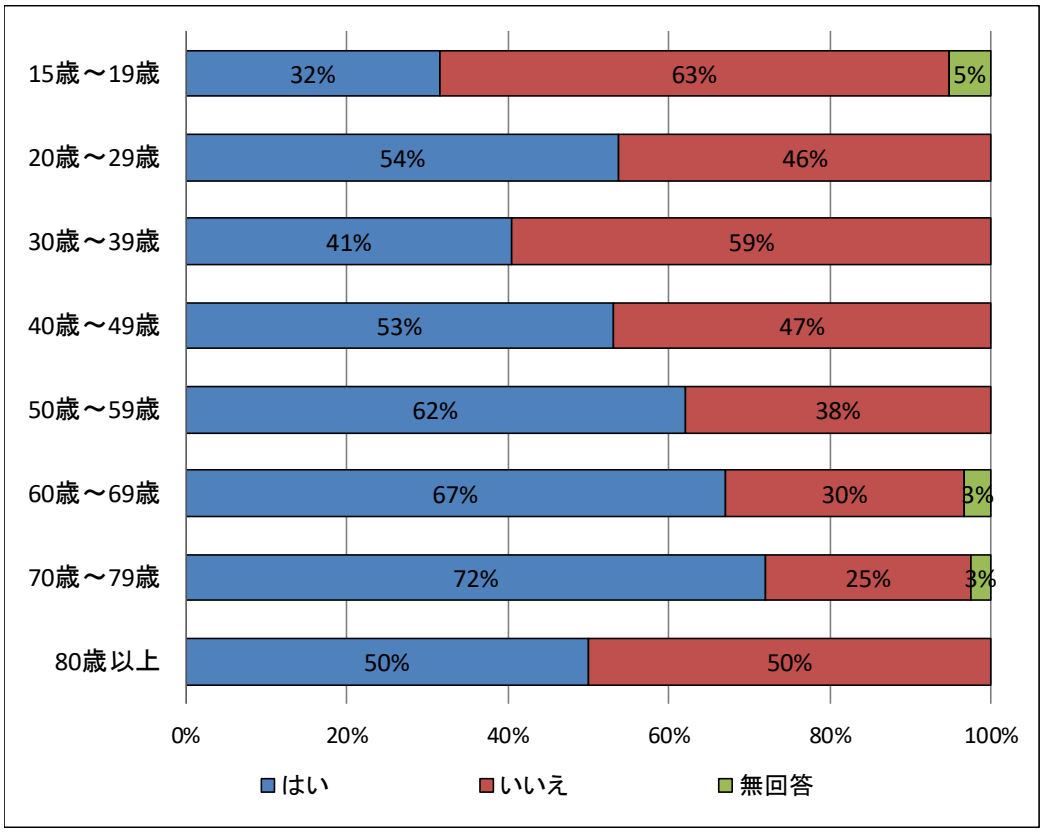
・ウォーキングの実施状況について、「はい」が 60%、「いいえ」が 38%となっている。

（単位：人）

選択項目	人数
はい	362
いいえ	231
無回答	9
計	602

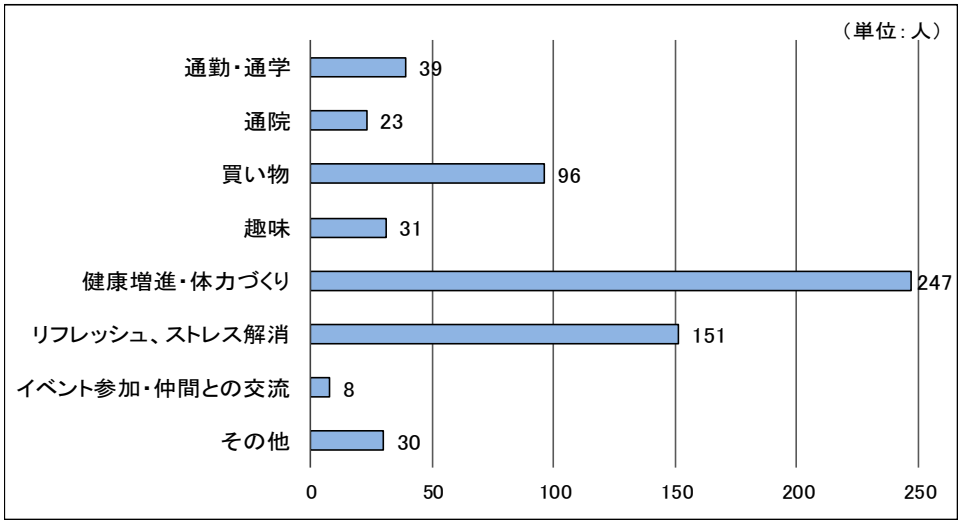


【年齢別×ウォーキングの実施状況】

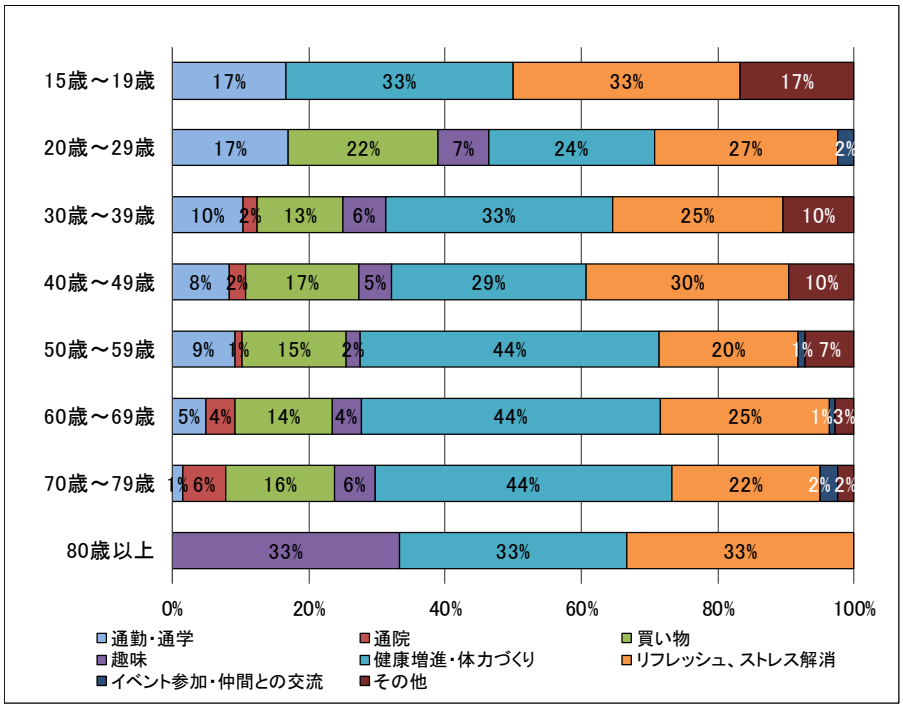


【問17】歩く目的について（※複数回答可）

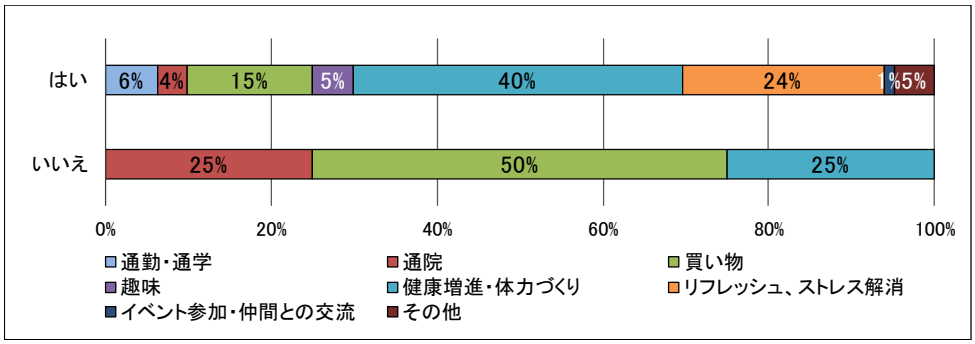
・歩く目的ついて、「**健康増進・体力づくり**」が 247 人と最も多く、次いで「**リフレッシュ、ストレス解消**」が 151 人となっているとなっている。



【年齢別×歩く目的】

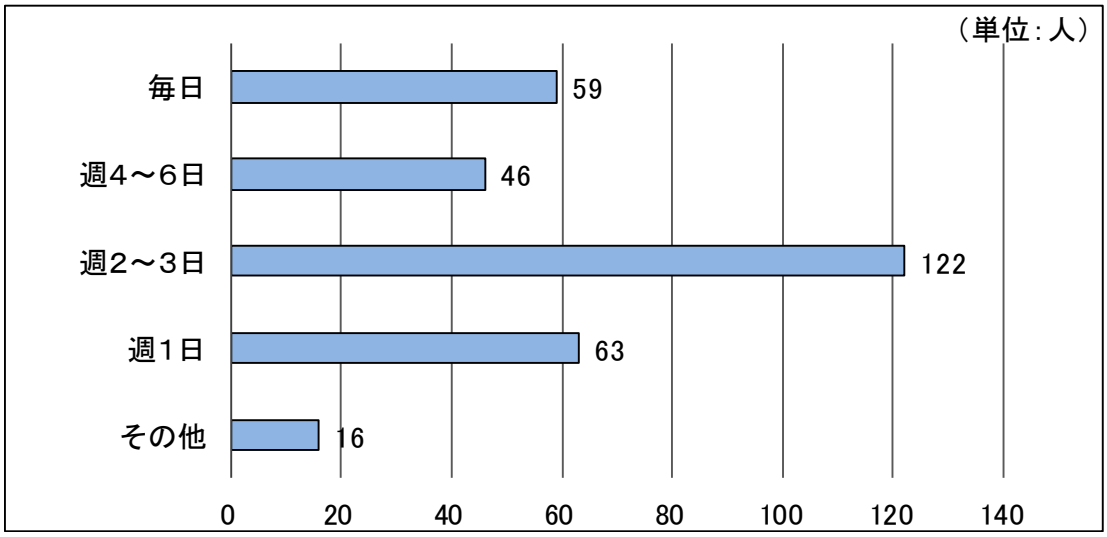


【ウォーキングの実施状況×歩く目的】



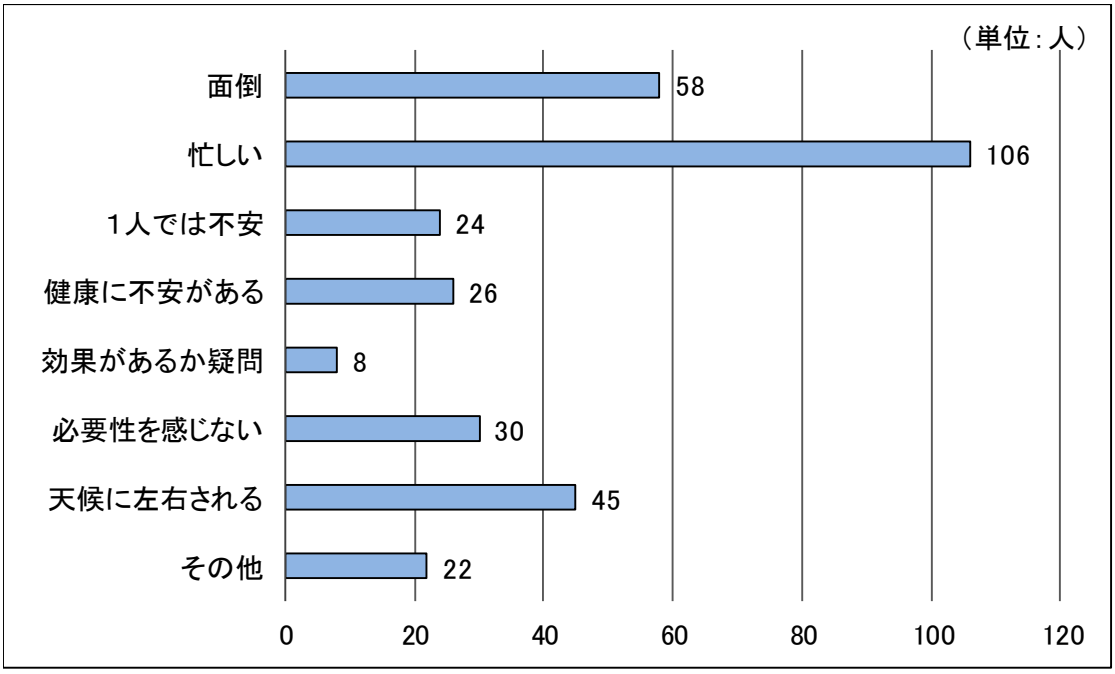
【問18】歩く頻度について

・歩く頻度について、「週 2～3 日」が 122 人と最も多く、次いで「週1日」が 63 人となっているとなっている。



【問19】ウォーキングしない理由について（※複数回答可）

・ウォーキングしない理由について、「忙しい」が 106 人と最も多く、次いで「面倒」が 58 人となっているとなっている。



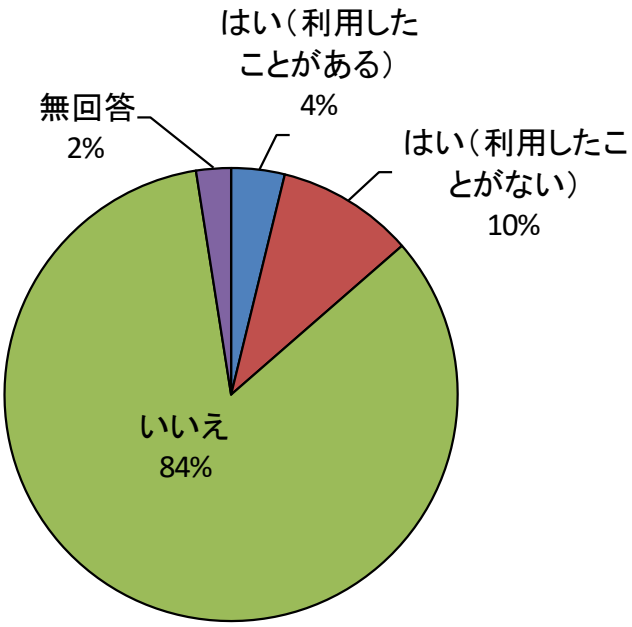
【問１６～問１９の考察】
- 年齢が高くなるにつれて、日頃から歩くことを意識している人が多く、全世代において、健康増進や体力づくりのために歩いている人が多い。
- 一方で、「面倒」「忙しい」といった理由から歩かない人も一定数いる。

【問20】ウォーキングコースの認知状況について

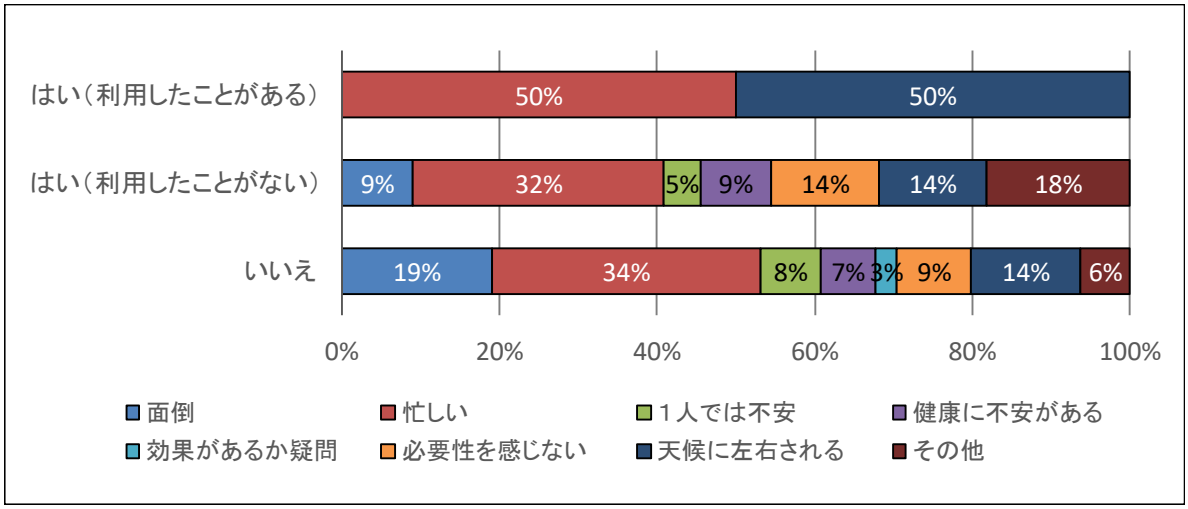
・ウォーキングコースの認知状況について、「はい（利用したことがない）」が 10%、「いいえ」が 84%となっている。

（単位：人）

選択項目	人数
はい（利用したことがある）	23
はい（利用したことがない）	59
いいえ	505
無回答	15
計	602

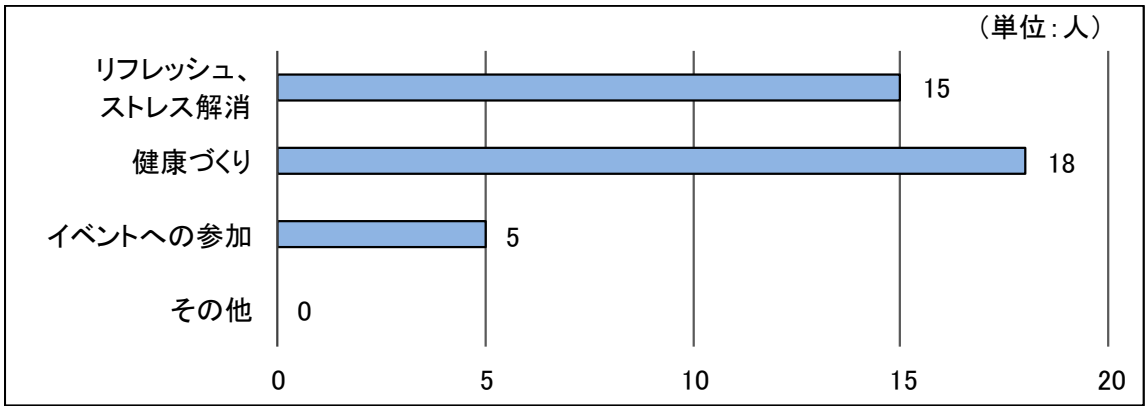


【ウォーキングコースの認知状況×ウォーキングしない理由】



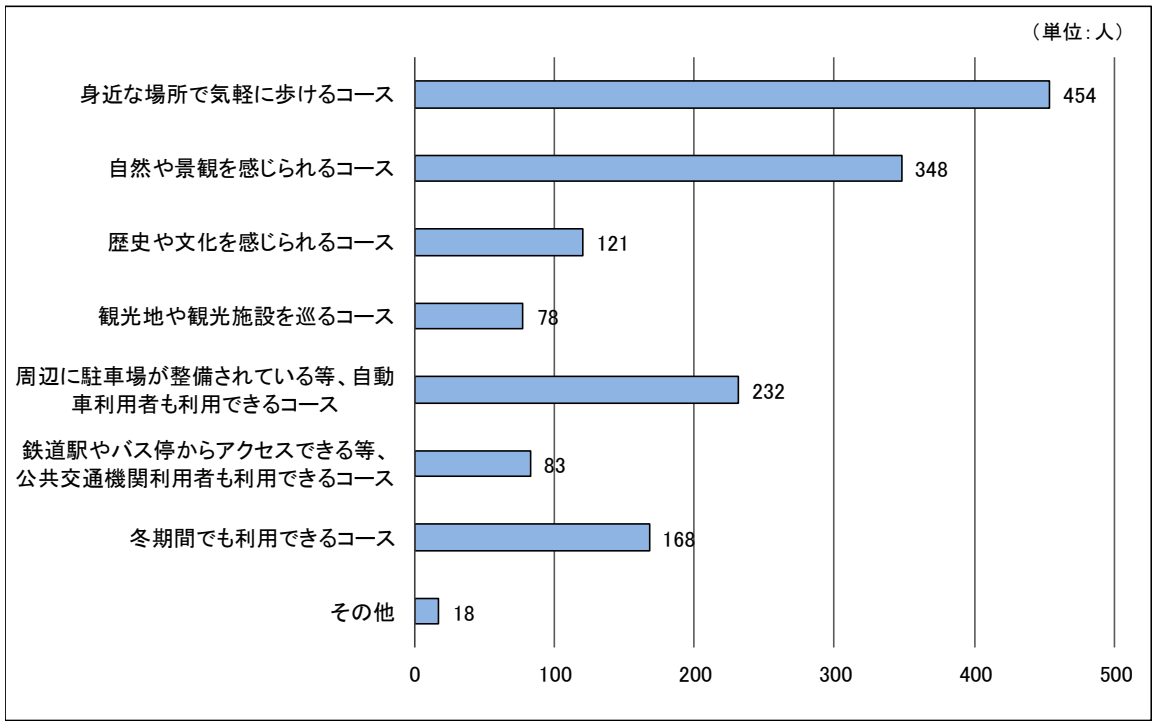
【問21】ウォーキングコースの利用目的について（※複数回答可）

・ウォーキングコースの利用目的について、**「健康づくり」**が 18 人と最も多く、次いで**「リフレッシュ、ストレス解消」**が 15 人となっている。



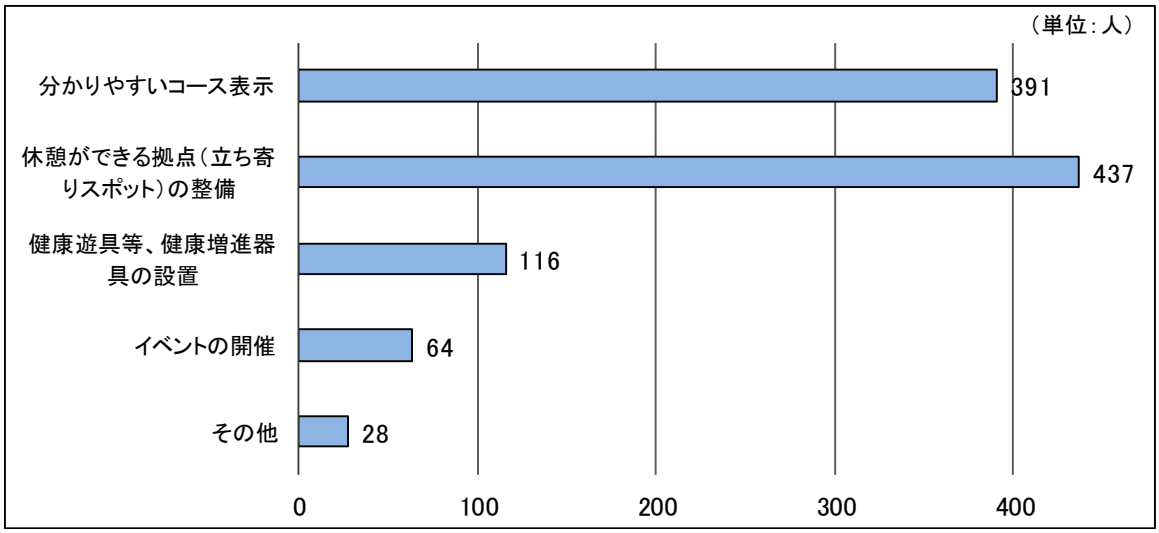
【問22（1）】ウォーキングコースの設定方針について（※複数回答可）

・ウォーキングコースの設定方針について、**「身近な場所で気軽に歩けるコース」**が 454 人と最も多く、次いで**「自然や景観を感じられるコース」**が 348 人となっている。



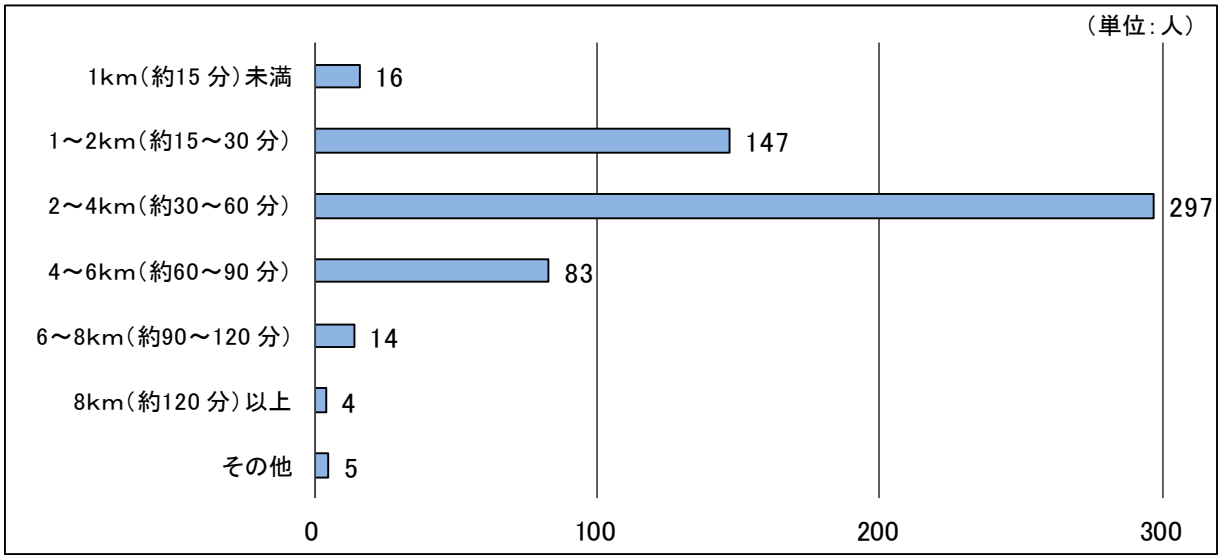
【問22（2)】ウォーキングコースに必要な工夫について（※複数回答可）

・ウォーキングコースに必要な工夫について、**「休憩ができる拠点（立ち寄りスポット）の整備」**が 437 人と最も多く、次いで**「分かりやすいコース表示」**が 391 人となっている。



【問22（3)】ウォーキングコースの距離について

・ウォーキングコースの距離について、**「2～4km（約 30～60 ）」**が 300 人と最も多く、次いで**「1～2km（約 15～30 ）」**が 148 人となっている。



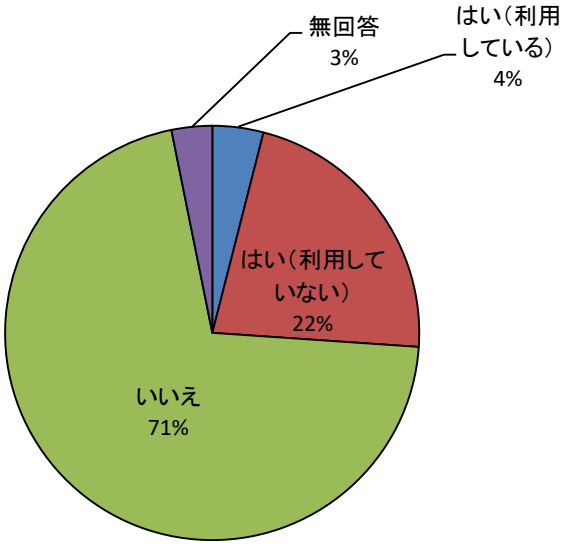
【問２０～問２２の考察】
・ウォーキングコースの認知度は低く、利用も少ない状況である。多様なニーズへの対応や、案内サインや拠点整備といった配慮も求められる。

【問23】SUKSKの認知状況について

・SUKSK の認知状況について、「**はい（利用していない）**」が 22%、「**いいえ**」が 71%となっている。

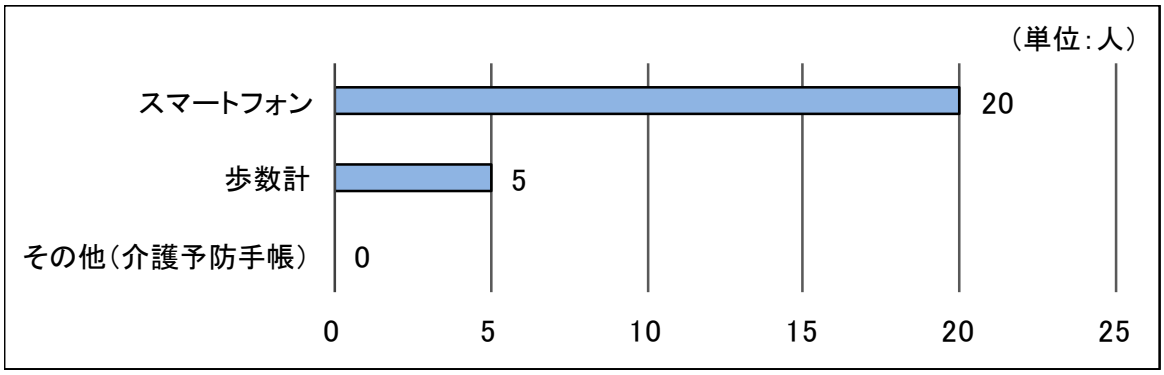
（単位：人）

選択項目	人数
はい（利用している）	24
はい（利用していない）	133
いいえ	426
無回答	19
計	602



【問24（1）】SUKSKへの参加方法について

・SUKSK への参加方法について、「**スマートフォン**」が 20 人、「**歩数計**」が 5 人となっている。



３．山形市ウォーキングロード及びサイクリングロード整備計画策定検討会議構成員一覧

区分	氏　　名	所　属	備　考
学識経験者	高澤　由美	山形大学大学院 理工学研究科　助教	座長
関係団体	大嶋　民代	山形市健康づくり運動普及推進協議会 副会長	
	三澤　良次	山形市レクリエーション協会監事 山形走ろう会　会長	
	金森　智	ジャパンエコトラック推進協議会事務局 株式会社モンベル広報部課長	
	石井　環	山形県スケート連盟 事務局長	
交通事業者	日下　和利	東日本旅客鉄道株式会社 山形駅　副駅長	
	寒河江　晃一	山交バス株式会社 営業部　乗合課次長	
行政機関	舟山　太一郎	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所　交通対策課長	
	佐藤　寛之		令和３年度より 舟山氏に代わり就任
	高宮　篤	山形県村山総合支庁 建設部　道路課課長	
	平山　直人		令和３年度より 高宮氏に代わり就任
	山村　浩志	山形警察署 交通第一課長	
	渡辺　彰人		令和３年度より 山村氏に代わり就任